

平成 25 年度

# 一宮市公営企業会計決算審査意見書

( 病 院 事 業 )

一 宮 市 監 査 委 員

この冊子には、再生紙を使用しています。

凡 例

- 1 消費税及び地方消費税については、本文中の予算執行状況及び審査資料中の予算決算対照表、決算両年度比較表については税込みの額、その他は税抜きの額で表示した。
- 2 比率については、小数点第2位で四捨五入してあるので、端数処理の関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 文中及び各表中の符号の用法は次のとおりである。
  - 「0.0」……算出により零となるもの、又は該当数値はあるが単位未満のもの
  - 「－」……算出不能なもの、又は該当数値がないもの
  - 「△」……負数

平成26年8月25日

一宮市長 谷 一 夫 様

一宮市監査委員 橋 本 博 利

一宮市監査委員 岸 澤 修

一宮市監査委員 高 木 宏 昌

一宮市監査委員 浅 野 清 二

## 平成25年度一宮市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成25年度一宮市病院事業会計決算及び決算附属書類について審査した結果、次のとおりその意見を提出します。



# 平成 25 年度一宮市病院事業会計決算審査意見

## 1 審査の対象

平成 25 年度一宮市病院事業会計決算

## 2 審査の期間

平成 26 年 6 月 6 日から平成 26 年 7 月 25 日まで

## 3 審査の方法

- (1) 決算審査にあたっては、決算及び決算附属書類と、総勘定元帳、関係補助簿、関連保管文書等とを照合し、あわせて関係職員の説明を求めて審査した。
- (2) 貯蔵品については、在庫検査を実施（市民病院は平成 26 年 3 月 31 日、木曾川市民病院は平成 26 年 3 月 19 日）し、帳簿と照合審査した。
- (3) 平成 25 年度の経営内容を把握するため、前年度との比較によって事業の推移を明らかにした。

## 4 審査の結果

審査に付された決算及び決算附属書類は、関係法令の諸規定に従って調製されており、関係諸帳簿と符合し、かつ、その計数は正確であり、本年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められた。

その概要及び意見は次のとおりである。

## 概 要 及 び 意 見

一宮市病院事業会計の決算審査意見書は、病院事業部の経営成績を按分により市民病院と木曾川市民病院に加え、一般管理費と病院分担金を相殺消去した損益計算書と、同様に財政状態を按分し加えた貸借対照表をもとにし、按分・相殺した後の2病院の概要及び意見を中心に記述しており、予算執行状況を除き、各数値は按分・相殺した後のものとしている。

### 1 業 務 状 況

本年度の一宮市病院事業会計の業務量及び前年度との増減状況は次のとおりである。

区分	診療科数	患者別		病床数	平成 25 年度		平成 24 年度		前年度 対 比
					年間延数	一日平均	年間延数	一日平均	
市民病院	21	入 院	一 般	560	187,469	514	189,569	519	98.9
			結核・ 感染症	24	5,581	15	5,550	15	100.6
			計	584	193,050	529	195,119	535	98.9
		外 来	時間内		363,108	1,488	365,915	1,494	99.2
			時間外		30,809	84	32,210	88	95.7
			計		393,917		398,125		98.9
木曾川 市民病院	5	入 院		138	44,419	122	45,605	125	97.4
		外 来	時間内		36,712	150	36,854	150	99.6
			時間外		786	2	809	2	97.2
			計		37,498		37,663		99.6
計	入 院		722	237,469	651	240,724	660	98.6	
	外 来			431,415		435,788		99.0	
入院・外来患者数合計					668,884		676,512		98.9

- (注) 1 本表の病床数は稼働病床数である。  
 2 入院及び外来時間外取扱診療日数は、365日である。(前年度365日)  
 3 外来時間内診療日数は、244日である。(前年度245日)  
 4 患者数の一日平均については、四捨五入により計と一致しない場合がある。

表でみられるように、本年度の総利用患者数は、延66万8,884人で前年度より7,628人(1.1%)減少している。そのうち入院患者数は、延23万7,469人で前年度より3,255人(1.4%)減少し、外来患者数は、延43万1,415人で前年度より4,373人(1.0%)減少している。

市民病院の稼働病床利用率(  $\frac{\text{年間入院患者数}}{\text{年間延病床数(稼働病床数)}} \times 100$  )は、一般病床では、91.7%で前年度より1.0ポイント下降しており、結核・感染症病床では、63.7%で前年度より0.3ポ

イント上昇している。

木曾川市民病院の稼働病床利用率は、88.2%で前年度より2.3ポイント下降している。

診療科目別患者数を前年度と比較すれば、次のとおりである。

科目別	年度 入院・外来別	平成25年度			平成24年度			増・△減		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
市	腎臓内科	5,261	4,197	9,458	4,899	4,026	8,925	362	171	533
	血液内科	11,354	9,295	20,649	10,928	8,745	19,673	426	550	976
	糖尿病・ 内分泌内科	1,427	12,734	14,161	1,711	13,462	15,173	△284	△728	△1,012
	一般内科	—	1,269	1,269	—	1,091	1,091	—	178	178
	循環器内科	17,892	27,300	45,192	16,655	25,872	42,527	1,237	1,428	2,665
	呼吸器内科	27,313	19,780	47,093	26,648	20,084	46,732	665	△304	361
	消化器内科	21,530	34,267	55,797	22,602	34,933	57,535	△1,072	△666	△1,738
	神経内科	12,509	15,261	27,770	14,132	15,649	29,781	△1,623	△388	△2,011
	小児科	17,200	29,345	46,545	17,598	28,822	46,420	△398	523	125
	外科	15,802	19,119	34,921	15,793	20,946	36,739	9	△1,827	△1,818
	心臓血管外科	3,681	3,697	7,378	3,855	3,798	7,653	△174	△101	△275
	血管外科	3,568	3,176	6,744	3,355	3,057	6,412	213	119	332
	整形外科	13,382	25,984	39,366	13,542	25,985	39,527	△160	△1	△161
	民 病 院	脳神経外科	13,395	11,638	25,033	12,899	12,107	25,006	496	△469
皮膚科		3,774	39,726	43,500	4,511	39,532	44,043	△737	194	△543
泌尿器科		3,467	20,354	23,821	4,002	20,518	24,520	△535	△164	△699
産婦人科		12,726	29,993	42,719	13,150	30,424	43,574	△424	△431	△855
眼科		721	15,372	16,093	658	16,481	17,139	63	△1,109	△1,046
耳鼻いんこう科		6,083	24,447	30,530	5,823	24,077	29,900	260	370	630
放射線治療科		152	5,423	5,575	468	6,343	6,811	△316	△920	△1,236
歯科口腔外科		1,813	10,731	12,544	1,890	9,963	11,853	△77	768	691
時間外取扱患者		—	30,809	30,809	—	32,210	32,210	—	△1,401	△1,401
計		193,050	393,917	586,967	195,119	398,125	593,244	△2,069	△4,208	△6,277
(うち結核・感染症)	(5,581)	(—)	(5,581)	(5,550)	(—)	(5,550)	(31)	(—)	(31)	

科目別		平成 25 年 度			平成 24 年 度			増 ・ △ 減		
		入 院	外 来	計	入 院	外 来	計	入 院	外 来	計
木 曾 川 市 民 病 院	内 科	人 20,718	人 24,143	人 44,861	人 19,901	人 24,882	人 44,783	人 817	人 △739	人 78
	外 科	5,776	2,199	7,975	8,308	2,004	10,312	△2,532	195	△2,337
	整 形 外 科	0	5,974	5,974	0	5,751	5,751	0	223	223
	眼 科	0	3,526	3,526	0	3,638	3,638	0	△112	△112
	リハビリ テーション科	1,125	870	1,995	491	579	1,070	634	291	925
	回復期リハビリ テーション	16,800	—	16,800	16,905	—	16,905	△105	—	△105
	時間外取扱患者	—	786	786	—	809	809	—	△23	△23
	計	44,419	37,498	81,917	45,605	37,663	83,268	△1,186	△165	△1,351
合 計	237,469	431,415	668,884	240,724	435,788	676,512	△3,255	△4,373	△7,628	
(うち外科)	(21,578)	(21,318)	(42,896)	(24,101)	(22,950)	(47,051)	(△2,523)	(△1,632)	(△4,155)	
(うち整形外科)	(13,382)	(31,958)	(45,340)	(13,542)	(31,736)	(45,278)	(△160)	(222)	(62)	
(うち眼科)	(721)	(18,898)	(19,619)	(658)	(20,119)	(20,777)	(63)	(△1,221)	(△1,158)	
{うち時間外 取扱患者}	(—)	(31,595)	(31,595)	(—)	(33,019)	(33,019)	(—)	(△1,424)	(△1,424)	

前表のとおり、市民病院の入院・外来患者数は、ともに前年度に比べ減少した。

入院患者数は、神経内科、消化器内科などで減少している。外来患者数は、外科、眼科、放射線治療科などで減少している。

入院患者数の減少は、外来患者数が減少したこと、平均在院日数が短くなったことなどによるものと考えられる。外来患者数の減少は、開業医への逆紹介を積極的に行ったこと、時間内診療日数が前年度に比べ1日少なかったこと、軽症患者については一宮市休日・夜間急病診療所へ受診するようPRに努めたことで診療時間外取扱患者数が減少したことによるものと考えられる。

木曾川市民病院の入院・外来患者数は、ともに前年度に比べ減少した。

入院患者数は、外科などで減少している。外来患者数は、内科などで減少している。

入院患者数の減少は、外科で退職により常勤医師が3か月不在となり、入院患者の受入れができなかったことによるものと考えられる。外来患者数の減少は、内科で常勤医師2名が異動したことなどによるものと考えられる。



年度末の職員数を前年度と比較してみると、次のとおりである。

区分		年度		増・△減
		平成25年度	平成24年度	
病院事業管理者		1 (0) 人	1 (0) 人	0 人
医師		138 (22)	131 (17)	7
内 訳	市民病院	132 (22)	124 (15)	8
	木曾川市民病院	6 (0)	7 (2)	△1
看護師		668 (30)	620 (36)	48
内 訳	市民病院	595 (28)	551 (34)	44
	木曾川市民病院	73 (2)	69 (2)	4
医療技術員		180 (5)	165 (6)	15
内 訳	市民病院	139 (4)	128 (5)	11
	木曾川市民病院	41 (1)	37 (1)	4
事務員		55 (3)	54 (2)	1
内 訳	市民病院	34 (1)	34 (0)	0
	木曾川市民病院	10 (1)	9 (1)	1
	病院事業部	11 (1)	11 (1)	0
技術員	市民病院	3 (0)	3 (0)	0
労務員	市民病院	28 (2)	29 (1)	△1
嘱託・臨時		125 (17)	119 (17)	6
内 訳	市民病院	90 (12)	86 (15)	4
	木曾川市民病院	35 (5)	33 (2)	2
計		1,198 (79)	1,122 (79)	76
内 訳	市民病院	1,021 (69)	955 (70)	66
	木曾川市民病院	165 (9)	155 (8)	10
	病院事業部	12 (1)	12 (1)	0

- (注) 1 職員数は各年度の3月31日付退職者数(括弧内の数)を含めている。  
2 病院事業管理者は、計の内訳のうち病院事業部の人数に含めている。

前表中の市民病院の医師数を診療科別にみると、次のとおりである。

区分	年度			区分	年度		
	平成25年度	平成24年度	増・△減		平成25年度	平成24年度	増・△減
腎臓内科	3 人	3 人	0 人	皮膚科	5 人	5 人	0 人
血液内科	5	6	△1	泌尿器科	3	2	1
糖尿病・内分泌内科	4	3	1	産婦人科	9	9	0
循環器内科	15	11	4	眼 科	2	2	0
呼吸器内科	8	9	△1	耳鼻いんこう科	5	4	1
消化器内科	12	12	0	放射線治療科	2	2	0
神経内科	4	4	0	歯科口腔外科	3	3	0
小児科	13	13	0	病理医	2	2	0
外科	8	8	0	麻酔医	3	3	0
心臓血管外科	5	5	0	精神科医	1	1	0
血管外科	3	3	0	救急医	6	4	2
整形外科	8	7	1				
脳神経外科	3	3	0	計	132	124	8

- (注) 1 本表には、研修医等は含めていない。  
2 医師数は各年度の3月31日付退職者数を含めている。

木曾川市民病院の医師数は、外科で1名減員となっている。

次に、職員及び患者1人あたりの医業収益、医業費用をみると、次のとおりである。

区 分		全 体			職 員 1 人 あ た り			患 者 1 人 あ た り		
		平成25年度	平成24年度	前年度対比	平成25年度	平成24年度	前年度対比	平成25年度	平成24年度	前年度対比
医 業 収 益		円 19,825,101,202	円 20,003,791,503	% 99.1	円 16,548,498	円 17,828,691	% 92.8	円 29,639	円 29,569	% 100.2
内 訳	市民病院	17,808,043,719	17,770,590,606	100.2	17,266,732	18,408,443	93.8	30,339	29,955	101.3
	木曾川市民病院	2,020,283,606	2,236,398,840	90.3	12,122,914	14,276,405	84.9	24,663	26,858	91.8
医 業 費 用		20,958,794,619	20,290,402,591	103.3	17,494,820	18,084,138	96.7	31,334	29,993	104.5
内 訳	市民病院	18,693,377,877	17,984,892,827	103.9	18,125,154	18,630,437	97.3	31,847	30,316	105.1
	木曾川市民病院	2,268,642,865	2,308,707,707	98.3	13,613,219	14,738,000	92.4	27,694	27,726	99.9

- (注) 1 医業収益及び医業費用の決算額は、病院事業会計の内部取引を相殺消去し、純計としたものであり、内訳の市民病院及び木曾川市民病院の決算額は、病院事業部の決算額を按分して加算し、一般管理費と病院分担金を相殺消去した数値を用いた。
- 2 医業収益及び医業費用の決算額は、病院間の取引も相殺消去した純計としたので、内訳の2病院の決算額の計と一致しない。
- 3 内部取引として医業収益から相殺消去した額は、平成25年度が3,226,123円、平成24年度が3,197,943円である。
- 4 一般管理費と病院分担金以外の内部取引として医業費用から相殺消去した額は、平成25年度が3,226,123円、平成24年度が3,197,943円である。
- 5 市民病院及び木曾川市民病院の職員1人あたりの医業収益、医業費用の算出にあたっては、5ページの職員数をもとに、病院事業部の職員数を給与費の按分方法に倣って2病院の職員数として割り振りして算出したもの。(市民病院と病院事業部を兼務する職員の2分の1を市民病院の職員として割り振りしたうえで、残る職員数を「市民病院：木曾川市民病院＝85：15」で按分し、2病院の職員として割り振りしている。)
- 6 市民病院と病院事業部を兼務する職員は、平成24、25年度ともに2名であり、職員数の割り振りにあたっては、小数点以下第2位まで算出した。

病院事業の患者1人あたりの医業収益は、2万9,639円で前年度に比べ0.2%の増加となっている。患者1人あたりの医業費用についても、3万1,334円で前年度に比べ4.5%の増加となっている。

したがって、本年度の患者1人あたりの医業収益と医業費用の差である医業損益は、1,695円の損失となっている。

また、医業収益対医業費用比率（ $\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$ ）は、94.6%で前年度の98.6%を4.0ポイント下回った。

なお、病院事業では、医業収益のほかにも、高度医療、救急医療等に対する一般会計負担金などの、医業費用に含まれている経費に対応する収益が含まれている。

そこで、これらの収益を前表の医業収益に含めてみれば、職員及び患者1人あたりの医業収

益は、次のとおりになる。

年 度 区 分		全 体			職 員 1 人 あ た り			患 者 1 人 あ た り		
		平成25年度	平成24年度	前年度 対 比	平成25年度	平成24年度	前年度 対 比	平 成 25年度	平 成 24年度	前年度 対 比
医 業 収 益		円 21,682,816,733	円 21,545,015,370	% 100.6	円 18,099,179	円 19,202,331	% 94.3	円 32,416	円 31,847	% 101.8
内 訳	市 民 病 院	19,448,127,288	19,095,462,158	101.8	18,856,962	19,780,869	95.3	33,133	32,188	102.9
	木 曾 川 市 民 病 院	2,237,915,568	2,452,751,155	91.2	13,428,836	15,657,524	85.8	27,319	29,456	92.7

- (注) 1 市民病院及び木曾川市民病院の職員1人あたりの医業収益の算出にあたっては、5ページの職員数をもとに、病院事業部の職員数を給与費の按分方法に倣って2病院の職員数として割振りして算出したもの。(市民病院と病院事業部を兼務する職員の2分の1を市民病院の職員として割振りしたうえで、残る職員数を「市民病院：木曾川市民病院＝85：15」で按分し、2病院の職員として割振りしている。)
- 2 市民病院と病院事業部を兼務する職員は、平成24、25年度ともに2名であり、職員数の割振りにあたっては、小数点以下第2位まで算出した。

## 2 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

＜収入＞

収益的収入は、予算現額 222 億 1,452 万 4,000 円に対し、決算額 220 億 7,911 万 1,786 円、執行率 99.4%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に 比べ決算額 の増・△減	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮受消費税及 び地方消費税	
	円	円	円	%	円	
医 業 収 益	19,964,925,000	19,846,947,616	△117,977,384	99.4	18,620,291	
内 訳	市 民 病 院	17,976,425,000	17,823,727,040	△152,697,960	99.2	15,683,321
	木 曾 川 市 民 病 院	1,988,500,000	2,023,220,576	34,720,576	101.7	2,936,970
医 業 外 収 益	2,249,171,000	2,231,582,940	△17,588,060	99.2	4,818,184	
内 訳	市 民 病 院	1,876,312,000	1,858,776,250	△17,535,750	99.1	4,063,435
	木 曾 川 市 民 病 院	225,491,000	227,275,998	1,784,998	100.8	334,977
	病 院 事 業 部	147,368,000	145,530,692	△1,837,308	98.8	419,772
特 別 利 益	428,000	581,230	153,230	135.8	0	
内 訳	市 民 病 院	261,000	415,285	154,285	159.1	0
	木 曾 川 市 民 病 院	166,000	165,945	△55	100.0	0
	病 院 事 業 部	1,000	0	△1,000	0.0	0
合 計	22,214,524,000	22,079,111,786	△135,412,214	99.4	23,438,475	
内 訳	市 民 病 院	19,852,998,000	19,682,918,575	△170,079,425	99.1	19,746,756
	木 曾 川 市 民 病 院	2,214,157,000	2,250,662,519	36,505,519	101.6	3,271,947
	病 院 事 業 部	147,369,000	145,530,692	△1,838,308	98.8	419,772

決算額の主なものは、医業収益では入院収益 133 億 8,947 万 2,974 円、外来収益 60 億 5,925 万 8,506 円、医業外収益では負担金・交付金 19 億 6,809 万 3,101 円である。また、特別利益 58 万 1,230 円は、全額過年度分の諸手当の戻入による過年度収益である。

<支 出>

収益的支出は、予算現額 224 億 8,180 万 3,000 円に対し、決算額 220 億 4,285 万 2,039 円、執行率 98.0%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	不 用 額	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮払消費税及 び地方消費税	
	円	円	円	%	円	
医 業 費 用	21,635,220,000	21,219,727,302	415,492,698	98.1	188,598,728	
内 訳	市 民 病 院	19,148,348,000	18,792,936,049	355,411,951	98.1	164,160,798
	木 曾 川 市 民 病 院	2,339,503,000	2,281,260,561	58,242,439	97.5	24,018,158
	病 院 事 業 部	147,369,000	145,530,692	1,838,308	98.8	419,772
医 業 外 費 用	757,880,000	735,833,026	22,046,974	97.1	2,352,842	
内 訳	市 民 病 院	718,350,000	699,604,766	18,745,234	97.4	2,352,842
	木 曾 川 市 民 病 院	39,530,000	36,228,260	3,301,740	91.6	0
特 別 損 失	88,503,000	87,291,711	1,211,289	98.6	501,803	
内 訳	市 民 病 院	86,203,000	85,081,899	1,121,101	98.7	500,739
	木 曾 川 市 民 病 院	2,300,000	2,209,812	90,188	96.1	1,064
予 備 費	200,000	0	200,000	0.0	0	
内 訳	市 民 病 院	100,000	0	100,000	0.0	0
	木 曾 川 市 民 病 院	100,000	0	100,000	0.0	0
合 計	22,481,803,000	22,042,852,039	438,950,961	98.0	191,453,373	
内 訳	市 民 病 院	19,953,001,000	19,577,622,714	375,378,286	98.1	167,014,379
	木 曾 川 市 民 病 院	2,381,433,000	2,319,698,633	61,734,367	97.4	24,019,222
	病 院 事 業 部	147,369,000	145,530,692	1,838,308	98.8	419,772

決算額の主なものは、医業費用では給与費 106 億 898 万 9,383 円、材料費 50 億 5,782 万 6,228 円、経費 39 億 7,454 万 7,832 円、医業外費用では支払利息 2 億 7,194 万 4,779 円、雑損失 2 億 4,299 万 2,212 円、繰延勘定償却 1 億 5,894 万 3,904 円である。また、特別損失の内訳は、不納欠損処分、過年度分の入院・外来収益の減点分などの過年度損失 8,016 万 9,211 円並びに九

品地公園仮設駐車場復旧工事により撤去処分した構築物の除却損及び同復旧工事費のその他特別損失 712 万 2,500 円である。

(2) 資本的収入及び支出

<収入>

資本的収入は、予算現額 1 億 9,359 万 6,000 円に対し、決算額 1 億 9,349 万 3,552 円、執行率 99.9%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分	予 算 現 額 (A)	決 算 額 (B)	予算現額に 比べ決算額 の増・△減	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮受消費税及 び地方消費税
	円	円	円	%	円
出 資 金	152,755,000	152,752,552	△2,448	100.0	0
内 訳					
市民病院	122,100,000	122,099,362	△638	100.0	0
木曾川 市民病院	30,655,000	30,653,190	△1,810	100.0	0
寄附金					
市民病院	100,000	0	△100,000	0.0	0
補助金					
市民病院	741,000	741,000	0	100.0	0
繰入金					
木曾川 市民病院	40,000,000	40,000,000	0	100.0	0
合 計	193,596,000	193,493,552	△102,448	99.9	0
内 訳					
市民病院	122,941,000	122,840,362	△100,638	99.9	0
木曾川 市民病院	70,655,000	70,653,190	△1,810	100.0	0

決算額のうち、出資金 1 億 5,275 万 2,552 円の内訳は、企業債償還元金出資金 1 億 4,849 万 6,975 円（市民病院 1 億 2,137 万 7,862 円、木曾川市民病院 2,711 万 9,113 円）、建設改良出資金 320 万 2,500 円（全額木曾川市民病院）及び地方公営企業会計制度改正経費出資金 105 万 3,077 円（市民病院 72 万 1,500 円、木曾川市民病院 33 万 1,577 円）である。補助金は、全額愛知県地域医療再生施設・設備整備費（災害拠点病院）補助金である。繰入金は、全額国民健康保険事業特別会計繰入金で、これは、前年度のオーダーリングシステム購入費に対する特別調整交付金である。

<支出>

資本的支出は、予算現額 4 億 6,012 万 3,000 円に対し、決算額 4 億 5,383 万 1,886 円、執行率 98.6%となっている。

その内訳は次のとおりである。

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 $\frac{(B)}{(A)}$	決算額のうち 仮払消費税及び 地方消費税
	円	円	円	円	%	円
建設改良費	234,939,000	228,648,821	0	6,290,179	97.3	10,886,837
内 市民病院	187,870,000	181,670,692	0	6,199,308	96.7	8,649,783
内 木曾川市民病院	47,069,000	46,978,129	0	90,871	99.8	2,237,054
企業債償還金	225,184,000	225,183,065	0	935	100.0	0
内 市民病院	184,505,000	184,504,395	0	605	100.0	0
内 木曾川市民病院	40,679,000	40,678,670	0	330	100.0	0
合計	460,123,000	453,831,886	0	6,291,114	98.6	10,886,837
内 市民病院	372,375,000	366,175,087	0	6,199,913	98.3	8,649,783
内 木曾川市民病院	87,748,000	87,656,799	0	91,201	99.9	2,237,054

決算額のうち、建設改良費 2 億 2,864 万 8,821 円の内訳は、資産購入費 2 億 2,224 万 3,821 円（市民病院 1 億 8,167 万 692 円、木曾川市民病院 4,057 万 3,129 円）、改良費 640 万 5,000 円（全額木曾川市民病院）である。

資産購入費の主なものは、市民病院のフルデジタルモバイルCアームシステム、電子内視鏡システム、全自動錠剤分包機、木曾川市民病院の多項目自動血球分析装置、セントラルモニタ等の器械及び備品購入費である。改良費は、全額木曾川市民病院の直流電源装置更新工事である。

また、資本的支出総額 4 億 5,383 万 1,886 円に対し、資本的収入総額 1 億 9,349 万 3,552 円で、2 億 6,033 万 8,334 円収支不足となっているが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 25 万 6,953 円、過年度分損益勘定留保資金 1 億 9,695 万 4,848 円及び減債積立金 6,312 万 6,533 円により補てんされている。

### 3 経営状況

本年度の経営成績は、病院事業収益 219 億 8,360 万 8,858 円、病院事業費用 219 億 5,346 万 9,391 円（決算額は、病院事業会計の内部取引を相殺消去し、純計としたものである。）で、差引き 3,013 万 9,467 円の純利益を計上し、市民病院が 9,953 万 4,037 円の純利益であり、木曾川市民病院が 6,939 万 4,570 円の純損失であった。

市民病院の状況は、次のとおりである。

最初に、収益合計は前年度に比べ、2 億 8,452 万円余増加している。増加した主なものは、負担金・交付金、外来収益である。負担金・交付金が 3 億 286 万円余増加した要因は、統合した県立循環器呼吸器病センターからの採用職員の退職給与引当金に相当する金額を、愛知県から受け入れたことなどである。外来収益が 1 億 427 万円余増加した要因は、外来患者数が減少したものの、外来化学療法の実施により対象患者数が増加したことなどであると考えられる。なお、減少した主なものは、入院収益及びその他医業外収益である。入院収益が 7,817 万円余減少した要因は、医師の変動により入院患者数が減少したことなどであると考えられる。また、その他医業外収益が 5,483 万円余減少した要因は、賠償金保険金収入が皆減したことなどである。

これに対し、費用合計は前年度に比べ、7 億 530 万円余増加している。増加した主なものは、給与費、減価償却費及び材料費である。給与費が 9 億 8,132 万円余増加した要因は、県立循環器呼吸器病センターから採用した看護師、医療技術員の給料、手当等が増加したことや、退職給与引当金を増額したことなどである。減価償却費が 1 億 1,946 万円余増加した要因は、平成 24 年度に取得した建物、建物付属設備、構築物などの減価償却によるものである。材料費が 8,795 万円余増加した要因は、外来化学療法において高額な薬品の使用量が増加したことなどであると考えられる。なお、減少した主なものは、経費である。経費が 4 億 8,653 万円余減少した要因は、県立循環器呼吸器病センターからの職員派遣にかかる愛知県職員給与費負担金が皆減したことなどである。

総体的な収支状況は、収益の増加に対して費用の増加が上回り、純利益の額は減少した。

木曾川市民病院の状況は、次のとおりである。

最初に、収益合計は前年度に比べ、2 億 1,784 万円余減少している。減少した主なものは、外来収益及び入院収益である。外来収益が 1 億 4,251 万円余減少した要因は、平成 25 年 2 月から実施した外来投薬の院外処方への変更が 1 年を通して影響したことにより、外来単価が低くなったことであると考えられる。入院収益が 8,150 万円余減少した要因は、退職により外科医師が 3 か月間不在となり、入院患者数が減少したことであると考えられる。

これに対し、費用合計は前年度に比べ、4,695 万円余減少している。減少した主なものは、材料費である。材料費が 1 億 6,060 万円余減少した要因は、平成 25 年 2 月から外来投薬を院外処方に変更したことであると考えられる。なお、増加した主なものは、給与費及び減価償却費である。給与費が 9,129 万円余増加した要因は、退職給与引当金を増額したことなどである。また、減価償却費が 2,112 万円余増加した要因は、平成 24 年度に取得した器械及び備品、建物付属設備の減価償却によるものである。

総体的な収支状況は、費用の減少に対して収益の減少が上回り、純利益から純損失となった。

なお、各病院の説明には、病院事業部の実績が含まれているが、病院事業部を単独で見ても



れば、前年度と比べ給与費及び経費が減少している。給与費が516万円余減少した要因は、人事異動で職員の平均年齢が下がったことや、退職金の算定率低下の影響によるものである。経費が447万円余減少した要因は、原価計算システムの改修委託費が皆減したことなどである。

また、地方公営企業法第17条の2第1項及び総務省通知に基づき算定された地方公営企業繰出金については、市民病院で14億4,594万2,898円（うち病院事業部分6,457万9,068円）、木曾川市民病院で2億2,852万8,593円（うち病院事業部分1,139万6,306円）、合計で16億7,447万1,491円が一般会計負担金として医業外収益に計上されている。

その内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		平成25年度	平成24年度	前年度対比
市 民 病 院	企業債利息負担金	138,286,622 円	139,044,422 円	99.5 %
	結核医療経費負担金	79,835,130	79,284,928	100.7
	感染症医療経費負担金	459,374	150,121	306.0
	リハビリテーション医療経費負担金	50,900,766	49,919,200	102.0
	周産期医療経費負担金	118,401,721	109,692,002	107.9
	小児医療経費負担金	6,541,200	6,464,700	101.2
	救急医療確保経費負担金	246,942,221	247,132,335	99.9
	高度医療経費負担金	366,098,585	344,814,333	106.2
	特殊医療経費負担金	38,333,050	30,210,187	126.9
	院内保育所運営経費負担金	17,548,986	30,899,599	56.8
	保健衛生活動経費負担金 （うち市民病院分）	87,086,424 (22,507,356)	89,497,608 (22,451,296)	97.3 (100.2)
	（うち病院事業部分）	(64,579,068)	(67,046,312)	(96.3)
	医師等研究研修費負担金	20,819,315	18,441,701	112.9
	都市共済追加費用負担経費負担金	80,532,748	84,702,216	95.1
	基礎年金拠出金公的負担金	158,435,848	149,533,511	106.0
	児童手当経費負担金	34,482,000	31,523,000	109.4
	地方公営企業会計制度 改正経費負担金	1,238,908	—	—
	計	1,445,942,898	1,411,309,863	102.5
	（うち市民病院分）	(1,381,363,830)	(1,344,263,551)	(102.8)
（うち病院事業部分）	(64,579,068)	(67,046,312)	(96.3)	

区 分		平成 25 年 度	平成 24 年 度	前年度対比
木 曾 川 市 民 病 院	企業債利息負担金	11,530,028 円	12,084,721 円	95.4 %
	リハビリテーション医療経費負担金	52,602,341	49,136,580	107.1
	救急医療確保経費負担金	30,295,779	30,576,740	99.1
	高度医療経費負担金	19,115,865	19,115,865	100.0
	特殊医療経費負担金	30,358,889	30,248,055	100.4
	保健衛生活動経費負担金 (うち木曾川市民病院分)	41,021,354 (29,625,048)	40,264,270 (28,432,568)	101.9 (104.2)
	(うち病院事業部分)	(11,396,306)	(11,831,702)	(96.3)
	医師等研究研修費負担金	1,535,872	1,833,413	83.8
	都市共済追加費用負担経費負担金	11,425,470	13,095,475	87.2
	基礎年金拠出金公的負担金	22,683,278	23,478,184	96.6
	児童手当経費負担金	7,390,000	7,658,000	96.5
	地方公営企業会計制度 改正経費負担金	569,717	—	—
	計 (うち木曾川市民病院分) (うち病院事業部分)	228,528,593 (217,132,287) (11,396,306)	227,491,303 (215,659,601) (11,831,702)	100.5 (100.7) (96.3)
	合 計 (うち市民病院分) (うち木曾川市民病院分) (うち病院事業部分)	1,674,471,491 (1,381,363,830) (217,132,287) (75,975,374)	1,638,801,166 (1,344,263,551) (215,659,601) (78,878,014)	102.2 (102.8) (100.7) (96.3)

(注) 病院事業部の一般会計負担金は、按分して各病院の一般会計負担金と合わせて掲載している。

また、最近3か年の経営成績は、次のとおりである。

区 分		平成 23 年 度		平成 24 年 度		平成 25 年 度	
		決 算 額	前年度 対 比	決 算 額	前年度 対 比	決 算 額	前年度 対 比
病院事業収益		円 21,622,072,432	% 109.3	円 21,916,335,934	% 101.4	円 21,983,608,858	% 100.3
内 訳	市民病院	19,136,067,998	110.0	19,443,512,649	101.6	19,728,041,251	101.5
	木曾川 市民病院	2,487,613,482	104.6	2,476,640,276	99.6	2,258,793,730	91.2
病院事業費用		21,704,786,267	111.6	21,294,534,738	98.1	21,953,469,391	103.1
内 訳	市民病院	19,346,994,674	112.8	18,923,205,207	97.8	19,628,507,214	103.7
	木曾川 市民病院	2,359,400,641	103.1	2,375,146,522	100.7	2,328,188,300	98.0
純利益・△純損失		△82,713,835		621,801,196		30,139,467	
内 訳	市民病院	△210,926,676		520,307,442		99,534,037	
	木曾川 市民病院	128,212,841		101,493,754		△69,394,570	

- (注) 1 病院事業収益及び病院事業費用の決算額は、病院事業会計の内部取引を相殺消去し、純計としたものであり、内訳の市民病院及び木曾川市民病院の決算額は、病院事業部の決算額を按分して加算し、一般管理費と病院分担金を相殺消去したものである。
- 2 病院事業収益及び病院事業費用の決算額は、市民病院の手数料（外部検査）と木曾川市民病院の受託画像診断料（MRI）といった病院間の取引も相殺消去した純計としたので、内訳の2病院の決算額の計と一致しない。
- 3 一般管理費と病院分担金以外の内部取引として病院事業収益及び病院事業費用の相殺消去した額は、平成23年度が1,609,048円、平成24年度が3,816,991円、平成25年度が3,226,123円である。
- 4 市民病院の一般管理費と相殺消去した病院事業部の病院分担金の決算額は、平成23年度が43,988,721円、平成24年度が68,199,689円、平成25年度が62,520,200円である。
- 5 木曾川市民病院の一般管理費と相殺消去した病院事業部の病院分担金の決算額は、平成23年度が6,040,560円、平成24年度が7,506,375円、平成25年度が6,587,632円である。

表でみられるように、経営成績は、前年度に比べ病院事業収益が0.3%増加したことに対し、病院事業費用は3.1%増加しており、その結果、純利益は前年度の6億2,180万1,196円から、本年度の3,013万9,467円となった。

なお、一般管理費と病院事業部分担金等の病院事業会計の内部取引を相殺消去した純計での総収益対総費用比率（ $\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}} \times 100$ ）は100.1%で、前年度の102.9%を2.8ポイント下回った。

## (1) 収 益

### ア 市民病院

医業収益は、入院収益 120 億 675 万 4,033 円、外来収益 54 億 7,532 万 824 円をはじめ総額 178 億 804 万 3,719 円で、前年度に比べ 3,745 万 3,113 円 (0.2%) 増加している。

増加したものは、外来収益 1 億 427 万 321 円 (1.9%)、その他医業収益 1,136 万 549 円 (3.6%) である。なお、減少したものは、入院収益 7,817 万 7,757 円 (0.6%) である。

医業外収益は、負担金・交付金 17 億 3,893 万 5,267 円をはじめ総額 19 億 1,958 万 2,247 円で、前年度に比べ 2 億 4,736 万 698 円 (14.8%) 増加している。

増加した主なものは、負担金・交付金 3 億 286 万 6,929 円 (21.1%) である。なお、減少した主なものは、その他医業外収益 5,483 万 3,327 円 (33.5%) である。

特別利益は、41 万 5,285 円で前年度に比べ 28 万 5,209 円 (40.7%) 減少している。

### イ 木曾川市民病院

医業収益は、入院収益 13 億 8,123 万 296 円、外来収益 5 億 8,136 万 3,253 円をはじめ総額 20 億 2,028 万 3,606 円で、前年度に比べ 2 億 1,611 万 5,234 円 (9.7%) 減少している。

減少したものは、外来収益 1 億 4,251 万 7,519 円 (19.7%)、入院収益 8,150 万 4,045 円 (5.6%) である。

医業外収益は、負担金・交付金 2 億 2,915 万 7,834 円をはじめ総額 2 億 3,834 万 4,197 円で、前年度に比べ 189 万 2,508 円 (0.8%) 減少している。

特別利益は、16 万 5,945 円で前年度に比べ 16 万 1,196 円 (3,394.3%) 増加している。

なお、各病院の説明には、病院事業部の実績が含まれているが、病院事業部を単独で見れば、医業外収益は、総額 1 億 4,511 万 920 円で、前年度に比べ 959 万 1,187 円 (6.2%) 減少しており、特別利益は、0 円で前年度 3 万 1,665 円から皆減となっている。

## (2) 費 用

### ア 市民病院

医業費用は、186 億 9,337 万 7,877 円で前年度に比べ 7 億 848 万 5,050 円 (3.9%) 増加している。

増加した主なものは、給与費 9 億 8,132 万 6,743 円 (11.9%)、減価償却費 1 億 1,946 万 149 円 (9.9%)、材料費 8,795 万 8,674 円 (1.9%) である。なお、減少したものは、経費 4 億 8,653 万 8,651 円 (12.4%) である。

医業外費用は、8 億 5,054 万 8,177 円で前年度に比べ 2,067 万 8,734 円 (2.5%) 増加している。

増加した主なものは、繰延勘定償却 1,197 万 7,079 円 (8.4%) である。

特別損失は、8,458 万 1,160 円で前年度に比べ 2,386 万 1,777 円 (22.0%) 減少している。

減少した主なものは、その他特別損失 1,684 万 4,089 円 (70.8%) である。

また、過年度損失のうち入院収益等の未収金の不納欠損額は、3,319 万 9,617 円で前年度に比べ 517 万 3,328 円 (18.5%) 増加している。不納欠損処分は、今後とも慎重かつ適正な取扱いを望むものである。

なお、医業外収益 2 億 9,299 万 2,369 円に対応する費用が、医業費用に計上されており、医業損失が 2 億 9,299 万 2,369 円過大になっていた。最終損益に影響はないものの、費用収益対応の原則に基づいて、事務処理は適切に行われたい。

#### イ 木曾川市民病院

医業費用は、22 億 6,864 万 2,865 円で前年度に比べ 4,006 万 4,842 円（1.7%）減少している。

減少した主なものは、材料費 1 億 6,060 万 8,809 円（29.4%）である。なお、増加した主なものは、給与費 9,129 万 464 円（7.0%）、減価償却費 2,112 万 7,093 円（20.2%）である。

医業外費用は、5,733 万 6,687 円で前年度に比べ 786 万 5,741 円（12.1%）減少している。

特別損失は、220 万 8,748 円で、全額過年度損失であり、前年度に比べ 97 万 2,361 円（78.6%）増加している。

また、過年度損失のうち入院収益等の未収金の不納欠損額は、70 万 7,732 円で前年度に比べ 3 万 4,375 円（5.1%）増加している。不納欠損処分は、今後とも慎重かつ適正な取扱いを望むものである。

なお、各病院の説明には、病院事業部の実績が含まれているが、病院事業部を単独で見れば、医業費用は、総額 1 億 4,511 万 920 円で前年度に比べ 962 万 2,852 円（6.2%）減少している。

## 4 財政状態

本年度の資産総額は、325億1,657万219円で前年度に比べ2億6,249万1,912円（0.8%）減少している。

資産の構成比率は、固定資産63.9%、流動資産35.4%、繰延勘定0.7%である。

次に、負債及び資本の総額は、325億1,657万219円で、その構成比率は、固定負債4.4%、流動負債5.0%、資本金99.3%、剰余金マイナス8.8%となっている。

### （1）固定資産

#### ア 市民病院

固定資産は、有形固定資産191億452万6,265円、無形固定資産327万9,625円、投資1,212万1,000円の総額191億1,992万6,890円で、前年度に比べ11億7,237万4,828円（5.8%）減少している。

有形固定資産は、器械及び備品のフルデジタルモバイルCアームシステム、電子内視鏡システム、全自動錠剤分包機等の増加があるものの、減価償却と固定資産の除却により、全体として11億7,374万8,253円（5.8%）減少となっている。

無形固定資産は、財務会計システムソフトの増加により、137万3,425円（72.1%）増加している。

投資は、前年度と同額である。

#### イ 木曽川市民病院

固定資産は、有形固定資産16億5,749万9,617円、無形固定資産94万4,402円の総額16億5,844万4,019円で前年度に比べ8,330万7,175円（4.8%）減少している。

有形固定資産は、建物附属設備の直流電源装置、器械及び備品の多項目自動血球分析装置、セントラルモニタ等の増加があるものの、減価償却と固定資産の除却により、全体として8,393万8,750円（4.8%）減少となっている。

無形固定資産は、財務会計システムソフトの増加により、63万1,575円（201.9%）増加している。

### （2）流動資産

流動資産総額は、115億1,618万3,919円で前年度に比べ11億4,150万4,111円（11.0%）増加している。これは主に、未収金が1億4,237万6,221円（3.6%）減少したものの、現金預金が12億8,879万2,046円（20.5%）増加したためである。

流動資産の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		前年度 対 比
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
		円	%	円	%	%
現 金 預 金		7,569,666,342	65.7	6,280,874,296	60.5	120.5
内 訳	市 民 病 院	6,324,329,201	54.9	5,129,091,869	49.4	123.3
	(うち病院事業部分)	(49,998,585)	(0.4)	(52,055,914)	(0.5)	(96.0)
	木 曽 川 市 民 病 院	1,245,337,141	10.8	1,151,782,427	11.1	108.1
	(うち病院事業部分)	(8,823,279)	(0.1)	(9,186,337)	(0.1)	(96.0)
未 収 金		3,768,692,344	32.7	3,911,068,565	37.7	96.4
内 訳	市 民 病 院	3,394,026,803	29.5	3,591,617,332	34.6	94.5
	(うち病院事業部分)	(14,022)	(0.0)	(92,810)	(0.0)	(15.1)
	木 曽 川 市 民 病 院	374,665,541	3.3	319,451,233	3.1	117.3
	(うち病院事業部分)	(2,474)	(0.0)	(16,377)	(0.0)	(15.1)
貯 蔵 品		177,821,453	1.5	182,736,947	1.8	97.3
内 訳	市 民 病 院	160,077,457	1.4	160,243,347	1.5	99.9
	木 曽 川 市 民 病 院	17,743,996	0.2	22,493,600	0.2	78.9
前 払 費 用		3,780	0.0	—	—	—
内 訳	市 民 病 院	2,835	0.0	—	—	—
	木 曽 川 市 民 病 院	945	0.0	—	—	—
合 計		11,516,183,919	100.0	10,374,679,808	100.0	111.0
内 訳	市 民 病 院	9,878,436,296	85.8	8,880,952,548	85.6	111.2
	(うち病院事業部分)	(50,012,607)	(0.4)	(52,148,724)	(0.5)	(95.9)
	木 曽 川 市 民 病 院	1,637,747,623	14.2	1,493,727,260	14.4	109.6
	(うち病院事業部分)	(8,825,753)	(0.1)	(9,202,714)	(0.1)	(95.9)

未収金のうち主なものは、市民病院では未収入院収益 19 億 5,309 万 9,161 円、未収外来収益 8 億 2,537 万 7,493 円、未収負担金・交付金 5 億 2,453 万 4,433 円、木曽川市民病院では未収入院収益 2 億 3,404 万 6,405 円、未収外来収益 9,360 万 4,330 円である。

市民病院の未収金は、前年度に比べ 1 億 9,759 万 529 円 (5.5%) 減少している。減少した主なものは、その他未収金のうち、建設改良出資金 3 億 3,969 万 7,874 円 (皆減)、医業未収金のうち、入院収益 2 億 3,339 万 4,931 円 (10.7%) である。なお、増加した主なものは、医業外未収金のうち、負担金・交付金 3 億 7,500 万 922 円 (250.8%) である。

木曽川市民病院の未収金は、前年度に比べ 5,521 万 4,308 円 (17.3%) 増加している。増加した主なものは、その他未収金のうち、繰入金 3,500 万円 (700.0%)、医業未収金のうち、入

院収益 995 万 9,747 円 (4.4%)、外来収益 762 万 9,816 円 (8.9%) である。

未収金の主なものは、保険請求分と患者負担分である。そのうち保険請求分については、年度末分が通常次年度当初に収入される性質のもので、企業会計上では未収金として整理するが、本質的には滞納分にはあたらない。そこで、5月末現在の未収金を前年度と比較してみると、市民病院では減少し、木曾川市民病院では増加している。現年度(決算年度)と過年度に分けてみても、それぞれ同様に市民病院では減少し、木曾川市民病院では増加している。

未収金の中で注視すべきものは患者負担分であり、その対策には各病院とも努力されているところではあるが、高額療養費の限度額適用認定手続き、出産育児一時金等の医療機関等への直接支払制度など、患者の窓口負担を軽減する制度の活用を促進し、未納を未然に防ぐとともに、新たに発生した未納分については、窓口での納付相談や、効果的、効率的な催告を実施し、早期収納に努められたい。また、未納が長期に渡るようであれば、催告が形骸化しないように時期や方法を工夫しながら、一宮市債権回収特別対策室と連携して、粘り強く滞納整理に取り組まれたい。

なお、貯蔵品について調査したところ、その受払い及び管理は、良好に行われていた。

また、前払費用は全額クレジットカード端末のシステム利用料である。

### (3) 繰延勘定

繰延勘定額は、2億2,201万5,391円で全額控除対象外消費税額であり、前年度に比べ1億4,831万4,020円(40.0%)減少している。

市民病院の繰延勘定額は、2億984万9,417円で前年度に比べ1億4,656万1,408円(41.1%)減少している。

木曾川市民病院の繰延勘定額は、1,216万5,974円で前年度に比べ175万2,612円(12.6%)減少している。

### (4) 固定負債

固定負債総額は、14億3,522万4,129円で全額退職給与引当金であり、前年度に比べ7億3,180万4,022円(104.0%)増加している。

市民病院の退職給与引当金は、11億6,985万6,787円で前年度に比べ6億391万8,931円(106.7%)増加している。

木曾川市民病院の退職給与引当金は、2億6,536万7,342円で前年度に比べ1億2,788万5,091円(93.0%)増加している。

固定負債の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。



区 分		平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		前年度 対 比
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
退 職 給 与 引 当 金		円 1,435,224,129	% 100.0	円 703,420,107	% 100.0	% 204.0
内 訳	市 民 病 院	1,169,856,787	81.5	565,937,856	80.5	206.7
	┆ (うち病院事業部分)	(14,247,083)	(1.0)	(11,455,105)	(1.6)	(124.4)
	木 曾 川 市 民 病 院	265,367,342	18.5	137,482,251	19.5	193.0
	┆ (うち病院事業部分)	(2,514,191)	(0.2)	(2,021,489)	(0.3)	(124.4)

#### (5) 流 動 負 債

流動負債総額は、16億3,535万8,631円で前年度に比べ9億7,934万5,788円(37.5%)減少している。

流動負債の内訳を前年度と比較すれば、次のとおりである。

区 分		平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		前年度 対 比
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
未 払 金		円 1,549,617,246	% 94.8	円 2,531,549,817	% 96.8	% 61.2
内 訳	市 民 病 院	1,356,835,809	83.0	2,313,520,961	88.5	58.6
	┆ (うち病院事業部分)	(28,499,064)	(1.7)	(33,765,163)	(1.3)	(84.4)
	木 曾 川 市 民 病 院	192,781,437	11.8	218,028,856	8.3	88.4
	┆ (うち病院事業部分)	(5,029,246)	(0.3)	(5,958,557)	(0.2)	(84.4)
預 り 金		85,741,385	5.2	83,154,602	3.2	103.1
内 訳	市 民 病 院	75,780,654	4.6	68,936,825	2.6	109.9
	┆ (うち病院事業部分)	(7,266,460)	(0.4)	(6,928,456)	(0.3)	(104.9)
	木 曾 川 市 民 病 院	9,960,731	0.6	14,217,777	0.5	70.1
	┆ (うち病院事業部分)	(1,282,316)	(0.1)	(1,222,668)	(0.0)	(104.9)
合 計		1,635,358,631	100.0	2,614,704,419	100.0	62.5
内 訳	市 民 病 院	1,432,616,463	87.6	2,382,457,786	91.1	60.1
	┆ (うち病院事業部分)	(35,765,524)	(2.2)	(40,693,619)	(1.6)	(87.9)
	木 曾 川 市 民 病 院	202,742,168	12.4	232,246,633	8.9	87.3
	┆ (うち病院事業部分)	(6,311,562)	(0.4)	(7,181,225)	(0.3)	(87.9)

未払金のうち主なものは、市民病院では薬品・診療材料購入費4億2,245万6,795円、委託料などの経費4億502万1,722円、退職手当3億5,521万8,755円である。木曾川市民病院では退職手当7,870万585円、委託料などの経費3,675万3,264円、薬品・診療材料購入費3,267

万 8,716 円である。

市民病院の未払金は、前年度に比べ 9 億 5,668 万 5,152 円 (41.4%) 減少している。減少した主なものは、建設改良未払金 9 億 6,017 万 9,844 円 (97.5%) である。

木曾川市民病院の未払金は、前年度に比べ 2,524 万 7,419 円 (11.6%) 減少している。減少した主なものは、退職手当 4,408 万 9,163 円 (35.9%) である。

#### (6) 資 本 金

資本金総額は、322 億 9,684 万 3,615 円で前年度に比べ 930 万 3,980 円 (0.0%) 微減している。

資本金の内訳及び本年度中の増減状況は、次のとおりである。

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	増 ・ △ 減 内 訳
		円	円	円
自 己 資 本 金		18,931,484,599	18,715,605,514	215,879,085
内 訳	市 民 病 院	15,144,865,799	14,959,639,904	721,500 (会計制度改正経費出資金) 121,377,862 (企業債償還元金出資金) 63,126,533 (減債積立金組入)
	木曾川市民病院	3,786,618,800	3,755,965,610	3,202,500 (建設改良出資金) 331,577 (会計制度改正経費出資金) 27,119,113 (企業債償還元金出資金)
借 入 資 本 金		13,365,359,016	13,590,542,081	△225,183,065
内 訳	市 民 病 院	12,563,662,051	12,748,166,446	△184,504,395 ( 企 業 債 償 還 )
	木曾川市民病院	801,696,965	842,375,635	△40,678,670 ( 企 業 債 償 還 )
合 計		32,296,843,615	32,306,147,595	△9,303,980
内 訳	市 民 病 院	27,708,527,850	27,707,806,350	721,500
	木曾川市民病院	4,588,315,765	4,598,341,245	△10,025,480

2 予算執行状況 (2) 資本的収入及び支出に記載のとおり、市民病院の地方公営企業会計制度改正経費出資金が算定誤りにより 452 円多く収入されたため、自己資本金は、本来計上されるべき額より 452 円多く計上された。

#### (7) 剰 余 金

剰余金総額は、前年度に比べ 564 万 6,166 円 (0.2%) 減少し、マイナス 28 億 5,085 万 6,156 円となった。

剰余金の内訳及び本年度中の増減状況は、次のとおりである。

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	増 ・ △ 減 内 訳
資 本 剰 余 金		1,278,020,518	1,250,679,618	27,340,900
内 訳	市 民 病 院	1,130,283,343	1,142,942,443	4,898,500 (受贈財産評価額) 741,000 ( 県 補 助 金 ) △18,298,600 (受贈財産処分別)
	木曾川市民病院	147,737,175	107,737,175	40,000,000 ( 交 付 金 )
利 益 剰 余 金		△4,128,876,674	△4,095,889,608	△32,987,066
内 訳	市 民 病 院	△2,233,071,840	△2,269,479,344	△63,126,533 (減債積立金処分) 99,534,037 (当年度純利益)
	木曾川市民病院	△1,895,804,834	△1,826,410,264	△69,394,570 (当年度純損失)
合 計		△2,850,856,156	△2,845,209,990	△5,646,166
内 訳	市 民 病 院	△1,102,788,497	△1,126,536,901	23,748,404
	木曾川市民病院	△1,748,067,659	△1,718,673,089	△29,394,570

市民病院当年度未処理欠損金 22 億 8,754 万 1,254 円は、欠損金処理計算書のとおり、全額翌年度へ繰り越される。

木曾川市民病院当年度未処理欠損金 18 億 9,580 万 4,834 円は、欠損金処理計算書のとおり、全額翌年度へ繰り越される。

#### (8) 財 務 分 析

事業の財政状況の良否を示す財務比率をみると、経営の安全性を測る自己資本構成比率は 49.5%で前年度より 1.1 ポイント上昇し、資本投下の適否を測る固定資産対長期資本比率は 67.3%で前年度より 5.7 ポイント下降している。

また、事業の流動性を測る流動比率は 704.2%で前年度より 307.4 ポイント上昇している。

[審査資料 64～69 ページ参照]

(9) 資金の運用状況

按分後の比較貸借対照表をもとに市民病院、木曽川市民病院の資金運用表を作成し、財政状況をみると、次のとおりである。

ア 市民病院

資金の運用		資金の源泉	
( 長期資金 )			
項目	金額	項目	金額
無形固定資産の増加	1,373,425円	有形固定資産の減少	1,173,748,253円
借入資本金の減少	184,504,395	繰延勘定の減少	146,561,408
資本剰余金の減少	12,659,100	固定負債の増加	603,918,931
		自己資本金の増加	185,225,895
		利益剰余金の増加	36,407,504
計	198,536,920	計	2,145,861,991
資金充当残高	1,947,325,071		
合計	2,145,861,991	合計	2,145,861,991
( 短期資金 )			
項目	金額	項目	金額
現金預金の増加	1,195,237,332円	未収金の減少	197,590,529円
前払費用の増加	2,835	貯蔵品の減少	165,890
未払金の減少	956,685,152	預り金の増加	6,843,829
計	2,151,925,319	計	204,600,248
		正味運転資本の増加	1,947,325,071
合計	2,151,925,319	合計	2,151,925,319

表でみるとおり、無形固定資産の増加、借入資本金・資本剰余金の減少に対して運用された長期資金は1億9,853万6,920円であったが、その資金の源泉としては有形固定資産・繰延勘定(控除対象外消費税額)の減少、固定負債・自己資本金・利益剰余金の増加による21億4,586万1,991円であり、資金充当残高は19億4,732万5,071円となっている。

この資金充当残高が正味運転資本の増加として流動資産化しており、資金繰りに余裕がみられたといえる。

イ 木曾川市民病院

資 金 の 運 用		資 金 の 源 泉	
( 長 期 資 金 )			
項 目	金 額	項 目	金 額
無形固定資産の増加	631,575円	有形固定資産の減少	83,938,750円
借入資本金の減少	40,678,670	繰延勘定の減少	1,752,612
利益剰余金の減少	69,394,570	固定負債の増加	127,885,091
		自己資本金の増加	30,653,190
		資本剰余金の増加	40,000,000
計	110,704,815	計	284,229,643
資金充当残高	173,524,828		
合 計	284,229,643	合 計	284,229,643
( 短 期 資 金 )			
項 目	金 額	項 目	金 額
現金預金の増加	93,554,714円	貯蔵品の減少	4,749,604円
未収金の増加	55,214,308		
前払費用の増加	945		
未払金の減少	25,247,419		
預り金の減少	4,257,046		
計	178,274,432	計	4,749,604
		正味運転資本の増加	173,524,828
合 計	178,274,432	合 計	178,274,432

表でみるとおり、無形固定資産の増加、借入資本金・利益剰余金の減少に対して運用された長期資金は1億1,070万4,815円であったが、その資金の源泉としては有形固定資産・繰延勘定の減少、固定負債・自己資本金・資本剰余金の増加による2億8,422万9,643円であり、資金充当残高は1億7,352万4,828円となっている。

この資金充当残高が正味運転資本の増加として流動資産化しており、資金繰りに余裕がみられたといえる



## む す び

以上が平成 25 年度病院事業会計決算審査の概要であるが、最後に総括的な意見を述べて本審査のむすびとする。

一宮市病院事業では、急性期医療を提供する市民病院とその後方を支援（補完）する木曾川市民病院が目指すべき役割を明確にして、医療体制の充実、経営の改善に取り組まれているが、平成 25 年度は、市民病院では純利益を計上したものの、木曾川市民病院では純損失を計上した。

業務状況を振り返ってみると、総利用患者数は、延 66 万 8,884 人で前年度に比べ 7,628 人（1.1%）減少した。その内訳をみると、入院患者数は、延 23 万 7,469 人で前年度に比べ 3,255 人（1.4%）減少し、外来患者数は、延 43 万 1,415 人で前年度に比べ 4,373 人（1.0%）減少した。

次に経営状況であるが、市民病院については、負担金・交付金等の増加により医業外収益等が増加したため、事業収益合計は 2 億 8,452 万 8,602 円（1.5%）増の 197 億 2,804 万 1,251 円となった。これに対して、給与費等の増加により医業費用等が増加したため、事業費用合計は 7 億 530 万 2,007 円（3.7%）増の 196 億 2,850 万 7,214 円となった。その結果、本年度は 9,953 万 4,037 円の純利益となり、前年度からの繰越欠損金 23 億 8,707 万 5,291 円と差引きした結果、欠損金として 22 億 8,754 万 1,254 円を翌年度へ繰り越すこととなった。

木曾川市民病院については、入院収益、外来収益等の減少により医業収益等が減少したため、事業収益合計は 2 億 1,784 万 6,546 円（8.8%）減の 22 億 5,879 万 3,730 円となった。これに対して、材料費等の減少により医業費用等が減少したため、事業費用合計 4,695 万 8,222 円（2.0%）減の 23 億 2,818 万 8,300 円となった。その結果、本年度は 6,939 万 4,570 円の純損失となり、前年度からの繰越欠損金 18 億 2,641 万 264 円に加えた結果、欠損金として 18 億 9,580 万 4,834 円を翌年度へ繰り越すこととなった。

以上の結果、病院事業全体では、本年度 3,013 万 9,467 円の純利益となり、前年度からの繰越欠損金 42 億 1,348 万 5,555 円と差引きした結果、41 億 8,334 万 6,088 円を欠損金として翌年度へ繰り越すこととなった。病院事業全体では純利益を計上することができたものの、木曾川市民病院単独では純損失に転じており、翌年度へ繰り越す欠損金が依然として巨額であることを鑑みれば、決して経営状況を楽観視することはできない。

公立病院には、地域における基幹的な公的医療機関として、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供していくことが求められている。また、不採算・特殊部門に関わる医療や高度・先進医療を提供し、多様化する地域の医療需要に応えること、研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能を果たすことなど、様々な役割が求められている。

これに応えるべく市民病院では、尾張西部医療圏の基幹病院として、引き続き循環器医療、救急医療、小児医療、周産期医療、がん診療など様々な分野において、専門的かつ高度で質の高い医療を提供した。また、地域医療支援病院として、地域の診療所やほかの医療機関との医療機能の分担や連携を積極的に進めるとともに、検査機器や病床の共同利用や地域医療従事者

の研修を行うなど、地域医療の充実や向上に貢献した。このほか、フルデジタルモバイルＣＡームシステム、電子内視鏡システム、全自動錠剤分包機等を購入し、設備の充実にも努めた。

木曾川市民病院では、市民病院の後方支援（補完）病院として、回復期のリハビリテーションが必要な患者の受入れや、他の医療機関との連携に取り組み、地域の医療需要に応じてきた。このほか、前年度からオーダーリングシステムを導入し、医療情報の電子化を進めるとともに、外来投薬を院内処方から院外処方へと切替え、医薬分業を取り入れた。また、多項目自動血球分析装置、セントラルモニタ等を購入し、設備の充実に努めるとともに、改良工事として、直流電源装置の更新工事を行った。

病院事業部では、平成 26 年度に実施される地方公営企業会計制度の改正に対応するため、監査法人に業務の支援を委託し準備を進めた。

今後とも 2 病院間のみならず地域の診療所や他の病院との連携を推し進めるとともに、医療体制の充実や経営の効率化に励み、多様化する地域の医療需要に応えるべく、安定した経営の下で良質な医療サービスを継続して提供できるよう努められたい。

市民病院では、純利益が前年度の 5 億 2,030 万 7,442 円から、平成 25 年度は、9,953 万 4,037 円と減少しており、経常利益でも、前年度の 6 億 2,804 万 9,885 円から、1 億 8,369 万 9,912 円と減少している。これは主に、平成 26 年度からの公営企業会計の変更に対応するための退職給与引当金の増加と、前年度に完了した本館建替（南館 2 期）建設工事に伴う減価償却費の増加によるものである。平成 26 年度は、公営企業会計制度の改正に伴い、予算においてこれまでの退職給与引当金の計上不足額を一括して特別損失に計上しているため、経常損益には影響しないが、純損益の圧迫が見込まれる。収支状況の改善に気を緩めることなく、病床利用率の向上や、D P C（診断群分類包括評価）の効率的な運用を図るとともに、経費の節減にも努めなければならない。また、完了した建設事業にかかる企業債元金償還が本年度より始まっており、今後さらに大口の企業債の償還も控えている。資金の運用状況を詳細に分析して、より一層経営の強化や安定化に注力されたい。加えて、地域医療支援病院として、地域の多様化する医療需要に応えるために、地域の医療機関との連携を今まで以上に密にして、循環器センター、救命救急センター、地域周産期母子医療センター、外来化学療法室等、市民病院が備える高度かつ先進的な病院機能を十分に発揮し、尾張西部医療圏の基幹病院としての役割を果たすことが求められる。そのためにも、優秀な医療スタッフの確保、育成を怠ることなく、また、経営分析を有効に活用して、健全な経営に努められたい。

木曾川市民病院は、回復期リハビリテーションを活かし、市民病院の後方支援（補完）病院としての役割を果たすとともに、他の医療機関とも連携して、より多くの患者を受け入れるよう、引き続き努める必要がある。純損益は、前年度の 1 億 149 万 3,754 円の純利益から、平成 25 年度は、6,939 万 4,570 円の純損失に転じており、経常損益でも、前年度の 1 億 272 万 5,392 円の経常利益から、6,735 万 1,767 円の経常損失に転じている。これは主に、常勤医師の退職により不在となった期間が 3 か月あったことによる入院収益の減少と、平成 26 年度からの公営企業会計の変更に対応するための退職給与引当金の増加とが相まって、医業損失が増加したこ

とによるものである。退職、異動に伴う後任の医師の不在は、医業損益に大きな影響が出ると思われるため、医師の確保には、十分に意を用いられたい。

病院事業部は、平成26年4月から事務の効率化を図るため、経営企画課の業務を「人事、出納や財務などの行政的な事務」と「主に市民病院を中心とした経營業務」に整理し、新たな体制となった。今後も一宮市病院事業の運営における中心的な役割として、原価計算システムを活用して経営分析を進め、医療体制の充実、経営の効率化について、統括的な機能を発揮されたい。また、平成26年度から新しい会計基準を適用しているので、法令に基づき適切な事務処理を進められたい。

医療費の患者負担分の未収金対策は、病院全体で取り組まれるとともに、高額滞納や徴収困難な案件にならないように、早期収納に向けた努力を望むものである。

最後に、2病院が、今以上に魅力のある病院となるよう施設の有効的な活用をし、より効率的な入退院の運用を図り、稼働病床利用率を向上させ、収益の増加に努めるとともに、良質な医療を継続的に提供していくためにも、経費の節約を積み重ねて、純利益の計上あるいは増加を目指し、病院経営にあたられたい。

以上のような点を十分に配慮し、市民に信頼され、地域の期待に応えられる病院として、“健やかでいきいきと暮らせるまちづくり”の一端を担い、市民福祉の向上に努められることを要望する。



# 病院事業会計決算審査資料



# 病院事業会計決算審査資料目次

	ページ
予算決算対照表 .....	30 ～ 31
決算両年度比較表 .....	32 ～ 33
比較損益計算書 .....	34 ～ 45
収益的支出科目別及び経費別両年度比較表 .....	46 ～ 57
比較貸借対照表 .....	58 ～ 63
比較財務分析表 .....	64 ～ 69

# 予 算 決 算

収		入			
科 目	予 算 現 額 (A)		決 算 額 (B)		(B) (A) (%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>市民病院収益の収入</b>	<b>19,852,998,000</b>	<b>89.4</b>	<b>19,682,918,575</b>	<b>89.1</b>	<b>99.1</b>
医 業 収 益	17,976,425,000	80.9	17,823,727,040	80.7	99.2
医 業 外 収 益	1,876,312,000	8.4	1,858,776,250	8.4	99.1
特 別 利 益	261,000	0.0	415,285	0.0	159.1
<b>木曾川市民病院収益の収入</b>	<b>2,214,157,000</b>	<b>10.0</b>	<b>2,250,662,519</b>	<b>10.2</b>	<b>101.6</b>
医 業 収 益	1,988,500,000	9.0	2,023,220,576	9.2	101.7
医 業 外 収 益	225,491,000	1.0	227,275,998	1.0	100.8
特 別 利 益	166,000	0.0	165,945	0.0	100.0
<b>病院事業部収益の収入</b>	<b>147,369,000</b>	<b>0.7</b>	<b>145,530,692</b>	<b>0.7</b>	<b>98.8</b>
医 業 外 収 益	147,368,000	0.7	145,530,692	0.7	98.8
特 別 利 益	1,000	0.0	0	0.0	0.0
<b>収益の収入合計</b>	<b>22,214,524,000</b>	<b>100.0</b>	<b>22,079,111,786</b>	<b>100.0</b>	<b>99.4</b>
<b>市民病院資本の収入</b>	<b>122,941,000</b>	<b>63.5</b>	<b>122,840,362</b>	<b>63.5</b>	<b>99.9</b>
出 資 金	122,100,000	63.1	122,099,362	63.1	100.0
寄 附 金	100,000	0.1	0	0.0	0.0
補 助 金	741,000	0.4	741,000	0.4	100.0
<b>木曾川市民病院資本の収入</b>	<b>70,655,000</b>	<b>36.5</b>	<b>70,653,190</b>	<b>36.5</b>	<b>100.0</b>
出 資 金	30,655,000	15.8	30,653,190	15.8	100.0
繰 入 金	40,000,000	20.7	40,000,000	20.7	100.0
<b>資本の収入合計</b>	<b>193,596,000</b>	<b>100.0</b>	<b>193,493,552</b>	<b>100.0</b>	<b>99.9</b>
<b>(補てん財源)</b>					
当年度分消費税及び地方 消費税資本の収支調整額			256,953		
過年度分損益勘定留保資金			196,954,848		
減 債 積 立 金			63,126,533		

# 対 照 表

支		出			
科 目	予 算 現 額 (C)		決 算 額 (D)		(D) (C) (%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>市民病院収益の支出</b>	<b>19,953,001,000</b>	<b>88.8</b>	<b>19,577,622,714</b>	<b>88.8</b>	<b>98.1</b>
医 業 費 用	19,148,348,000	85.2	18,792,936,049	85.3	98.1
医 業 外 費 用	718,350,000	3.2	699,604,766	3.2	97.4
特 別 損 失	86,203,000	0.4	85,081,899	0.4	98.7
予 備 費	100,000	0.0	0	0.0	0.0
<b>木曾川市民病院収益の支出</b>	<b>2,381,433,000</b>	<b>10.6</b>	<b>2,319,698,633</b>	<b>10.5</b>	<b>97.4</b>
医 業 費 用	2,339,503,000	10.4	2,281,260,561	10.3	97.5
医 業 外 費 用	39,530,000	0.2	36,228,260	0.2	91.6
特 別 損 失	2,300,000	0.0	2,209,812	0.0	96.1
予 備 費	100,000	0.0	0	0.0	0.0
<b>病院事業部収益の支出</b>	<b>147,369,000</b>	<b>0.7</b>	<b>145,530,692</b>	<b>0.7</b>	<b>98.8</b>
医 業 費 用	147,369,000	0.7	145,530,692	0.7	98.8
<b>収益の支出合計</b>	<b>22,481,803,000</b>	<b>100.0</b>	<b>22,042,852,039</b>	<b>100.0</b>	<b>98.0</b>
<b>市民病院資本の支出</b>	<b>372,375,000</b>	<b>80.9</b>	<b>366,175,087</b>	<b>80.7</b>	<b>98.3</b>
建 設 改 良 費	187,870,000	40.8	181,670,692	40.0	96.7
企 業 債 償 還 金	184,505,000	40.1	184,504,395	40.7	100.0
<b>木曾川市民病院資本の支出</b>	<b>87,748,000</b>	<b>19.1</b>	<b>87,656,799</b>	<b>19.3</b>	<b>99.9</b>
建 設 改 良 費	47,069,000	10.2	46,978,129	10.4	99.8
企 業 債 償 還 金	40,679,000	8.8	40,678,670	9.0	100.0
<b>資本の支出合計</b>	<b>460,123,000</b>	<b>100.0</b>	<b>453,831,886</b>	<b>100.0</b>	<b>98.6</b>

# 決 算 兩 年

収		入			
科 目	平成 25 年 度		平成 24 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>市民病院収益的收入</b>	<b>19,682,918,575</b>	<b>89.1</b>	<b>19,394,553,708</b>	<b>88.1</b>	<b>101.5</b>
医 業 収 益	17,823,727,040	80.7	17,785,077,747	80.8	100.2
医 業 外 収 益	1,858,776,250	8.4	1,608,783,698	7.3	115.5
特 別 利 益	415,285	0.0	692,263	0.0	60.0
<b>木曾川市民病院収益的收入</b>	<b>2,250,662,519</b>	<b>10.2</b>	<b>2,468,026,895</b>	<b>11.2</b>	<b>91.2</b>
医 業 収 益	2,023,220,576	9.2	2,239,159,781	10.2	90.4
医 業 外 収 益	227,275,998	1.0	228,867,114	1.0	99.3
特 別 利 益	165,945	0.0	0	0.0	—
<b>病院事業部収益的收入</b>	<b>145,530,692</b>	<b>0.7</b>	<b>155,376,629</b>	<b>0.7</b>	<b>93.7</b>
医 業 外 収 益	145,530,692	0.7	155,344,964	0.7	93.7
特 別 利 益	0	0.0	31,665	0.0	0.0
<b>収益的收入合計</b>	<b>22,079,111,786</b>	<b>100.0</b>	<b>22,017,957,232</b>	<b>100.0</b>	<b>100.3</b>
<b>市民病院資本的收入</b>	<b>122,840,362</b>	<b>63.5</b>	<b>852,708,963</b>	<b>92.2</b>	<b>14.4</b>
出 資 金	122,099,362	63.1	452,653,128	48.9	27.0
寄 附 金	0	0.0	0	0.0	—
補 助 金	741,000	0.4	—	—	—
企 業 債	—	—	400,000,000	43.2	—
投 資 償 還 金	—	—	55,835	0.0	—
<b>木曾川市民病院資本的收入</b>	<b>70,653,190</b>	<b>36.5</b>	<b>72,537,920</b>	<b>7.8</b>	<b>97.4</b>
出 資 金	30,653,190	15.8	67,537,920	7.3	45.4
繰 入 金	40,000,000	20.7	5,000,000	0.5	800.0
<b>資本的收入合計</b>	<b>193,493,552</b>	<b>100.0</b>	<b>925,246,883</b>	<b>100.0</b>	<b>20.9</b>
<b>(補てん財源)</b>					
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	256,953		2,197,915		
過年度分損益勘定留保資金	196,954,848		1,075,772,107		
減 債 積 立 金	63,126,533		56,477,627		
資本的収支において余剰を生じた額	—		221,245,804		
過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	—		350,589		

(注) 補てん財源のうち、資本的収支において余剰を生じた額は、平成 23 年度の市民病院の資本的

# 度 比 較 表

科 目	支		出		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>市民病院収益的支出</b>	<b>19,577,622,714</b>	<b>88.8</b>	<b>18,867,145,855</b>	<b>88.2</b>	<b>103.8</b>
医 業 費 用	18,792,936,049	85.3	18,080,281,401	84.5	103.9
医 業 外 費 用	699,604,766	3.2	678,179,224	3.2	103.2
特 別 損 失	85,081,899	0.4	108,685,230	0.5	78.3
<b>木曾川市民病院収益的支出</b>	<b>2,319,698,633</b>	<b>10.5</b>	<b>2,365,856,777</b>	<b>11.1</b>	<b>98.0</b>
医 業 費 用	2,281,260,561	10.3	2,321,673,064	10.9	98.3
医 業 外 費 用	36,228,260	0.2	42,947,134	0.2	84.4
特 別 損 失	2,209,812	0.0	1,236,579	0.0	178.7
<b>病院事業部収益的支出</b>	<b>145,530,692</b>	<b>0.7</b>	<b>155,376,629</b>	<b>0.7</b>	<b>93.7</b>
医 業 費 用	145,530,692	0.7	155,376,629	0.7	93.7
<b>収益的支出合計</b>	<b>22,042,852,039</b>	<b>100.0</b>	<b>21,388,379,261</b>	<b>100.0</b>	<b>103.1</b>
<b>市民病院資本的支出</b>	<b>366,175,087</b>	<b>80.7</b>	<b>2,023,226,995</b>	<b>88.7</b>	<b>18.1</b>
建 設 改 良 費	181,670,692	40.0	1,853,794,114	81.3	9.8
企 業 債 償 還 金	184,504,395	40.7	169,432,881	7.4	108.9
<b>木曾川市民病院資本的支出</b>	<b>87,656,799</b>	<b>19.3</b>	<b>258,063,930</b>	<b>11.3</b>	<b>34.0</b>
建 設 改 良 費	46,978,129	10.4	218,217,300	9.6	21.5
企 業 債 償 還 金	40,678,670	9.0	39,846,630	1.7	102.1
<b>資本的支出合計</b>	<b>453,831,886</b>	<b>100.0</b>	<b>2,281,290,925</b>	<b>100.0</b>	<b>19.9</b>

収支で 221,245,804 円の余剰を生じたことにより、平成 24 年度の補てん財源としたものである。

# 比 較 損 益 計 算 書

科 目	借		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 費 用</b>	<b>20,958,794,619</b>	<b>95.5</b>	<b>20,290,402,591</b>	<b>95.3</b>	<b>103.3</b>
給 与 費	10,605,205,455	48.3	9,532,588,248	44.8	111.3
材 料 費	5,051,095,651	23.0	5,123,745,786	24.1	98.6
経 費 *	3,796,045,226	17.3	4,273,700,523	20.1	88.8
減 価 償 却 費	1,449,736,846	6.6	1,309,149,604	6.1	110.7
資 産 減 耗 費	6,971,658	0.0	6,273,026	0.0	111.1
研 究 研 修 費	49,739,783	0.2	44,945,404	0.2	110.7
一 般 管 理 費 *	0	0.0	0	0.0	—
<b>医 業 外 費 用</b>	<b>907,884,864</b>	<b>4.1</b>	<b>894,452,823</b>	<b>4.2</b>	<b>101.5</b>
支 払 利 息	271,944,779	1.2	272,518,715	1.3	99.8
患 者 外 給 食 費	312,400	0.0	382,400	0.0	81.7
患 者 外 給 食 材 料 費	0	0.0	0	0.0	—
保 育 費 *	46,755,689	0.2	44,607,675	0.2	104.8
繰 延 勘 定 償 却	158,943,904	0.7	145,654,624	0.7	109.1
雑 損 失	429,928,092	2.0	431,289,409	2.0	99.7
<b>特 別 損 失</b>	<b>86,789,908</b>	<b>0.4</b>	<b>109,679,324</b>	<b>0.5</b>	<b>79.1</b>
過 年 度 損 失	79,832,408	0.4	85,877,735	0.4	93.0
そ の 他 特 別 損 失	6,957,500	0.0	23,801,589	0.1	29.2
<b>小 計</b>	<b>21,953,469,391</b>	<b>100.0</b>	<b>21,294,534,738</b>	<b>100.0</b>	<b>103.1</b>
<b>当 年 度 純 利 益</b>	<b>30,139,467</b>		<b>621,801,196</b>		
<b>合 計</b>	<b>21,983,608,858</b>		<b>21,916,335,934</b>		

(注) 本表は、病院事業会計の内部取引を相殺消去し、純計とした。なお、\*印の科目で病院事業会



( 総 合 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 収 益</b>	<b>19,825,101,202</b>	<b>90.2</b>	<b>20,003,791,503</b>	<b>91.3</b>	<b>99.1</b>
入 院 収 益	13,387,984,329	60.9	13,547,666,131	61.8	98.8
外 来 収 益	6,056,655,897	27.6	6,094,931,275	27.8	99.4
その他医業収益*	380,460,976	1.7	361,194,097	1.6	105.3
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>2,157,926,426</b>	<b>9.8</b>	<b>1,911,839,188</b>	<b>8.7</b>	<b>112.9</b>
受 取 利 息	2,388,876	0.0	2,393,903	0.0	99.8
補 助 金	59,884,352	0.3	60,785,994	0.3	98.5
負担金・交付金	1,968,093,101	9.0	1,664,482,921	7.6	118.2
患者外給食収益	509,701	0.0	617,649	0.0	82.5
保 育 収 益 *	9,671,483	0.0	8,498,601	0.0	113.8
その他医業外収益*	117,109,411	0.5	174,860,613	0.8	67.0
雑 収 益	269,502	0.0	199,507	0.0	135.1
<b>特 別 利 益</b>	<b>581,230</b>	<b>0.0</b>	<b>705,243</b>	<b>0.0</b>	<b>82.4</b>
過 年 度 収 益	581,230	0.0	705,243	0.0	82.4
<b>小 計</b>	<b>21,983,608,858</b>	<b>100.0</b>	<b>21,916,335,934</b>	<b>100.0</b>	<b>100.3</b>
当 年 度 純 損 失	—		—		
<b>合 計</b>	<b>21,983,608,858</b>		<b>21,916,335,934</b>		

計の内部取引を相殺消去している。

# 比 較 損 益 計 算 書

科 目	借		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 費 用</b>	<b>18,628,775,251</b>	<b>95.2</b>	<b>17,917,719,274</b>	<b>95.0</b>	<b>104.0</b>
給 与 費	9,087,798,753	46.5	8,102,014,722	43.0	112.2
材 料 費	4,664,631,857	23.8	4,576,673,183	24.3	101.9
経 費	3,439,881,567	17.6	3,922,614,059	20.8	87.7
減 価 償 却 費	1,323,782,876	6.8	1,204,322,727	6.4	109.9
資 産 減 耗 費	4,828,094	0.0	2,458,644	0.0	196.4
研 究 研 修 費	45,331,904	0.2	41,436,250	0.2	109.4
一 般 管 理 費	62,520,200	0.3	68,199,689	0.4	91.7
<b>医 業 外 費 用</b>	<b>850,548,177</b>	<b>4.3</b>	<b>829,869,443</b>	<b>4.4</b>	<b>102.5</b>
支 払 利 息	254,649,737	1.3	254,391,633	1.3	100.1
患 者 外 給 食 費	312,400	0.0	382,400	0.0	81.7
保 育 費	46,755,689	0.2	44,607,675	0.2	104.8
繰 延 勘 定 償 却	155,007,038	0.8	143,029,959	0.8	108.4
雑 損 失	393,823,313	2.0	387,457,776	2.1	101.6
<b>特 別 損 失</b>	<b>84,581,160</b>	<b>0.4</b>	<b>108,442,937</b>	<b>0.6</b>	<b>78.0</b>
過 年 度 損 失	77,623,660	0.4	84,641,348	0.4	91.7
そ の 他 特 別 損 失	6,957,500	0.0	23,801,589	0.1	29.2
<b>小 計</b>	<b>19,563,904,588</b>	<b>100.0</b>	<b>18,856,031,654</b>	<b>100.0</b>	<b>103.8</b>
<b>当 年 度 純 利 益</b>	<b>99,534,037</b>		<b>520,307,442</b>		
<b>合 計</b>	<b>19,663,438,625</b>		<b>19,376,339,096</b>		

# ( 市 民 病 院 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 収 益</b>	<b>17,808,043,719</b>	<b>90.6</b>	<b>17,770,590,606</b>	<b>91.7</b>	<b>100.2</b>
入 院 収 益	12,006,754,033	61.1	12,084,931,790	62.4	99.4
外 来 収 益	5,475,320,824	27.8	5,371,050,503	27.7	101.9
その他医業収益	325,968,862	1.7	314,608,313	1.6	103.6
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>1,854,979,621</b>	<b>9.4</b>	<b>1,605,074,912</b>	<b>8.3</b>	<b>115.6</b>
受 取 利 息	1,318,935	0.0	1,605,287	0.0	82.2
補 助 金	59,884,352	0.3	60,785,994	0.3	98.5
負担金・交付金	1,674,356,199	8.5	1,369,022,026	7.1	122.3
患者外給食収益	509,701	0.0	617,649	0.0	82.5
保 育 収 益	9,671,483	0.0	9,117,649	0.0	106.1
その他医業外収益	108,972,145	0.6	163,728,086	0.8	66.6
雑 収 益	266,806	0.0	198,221	0.0	134.6
<b>特 別 利 益</b>	<b>415,285</b>	<b>0.0</b>	<b>673,578</b>	<b>0.0</b>	<b>61.7</b>
過 年 度 収 益	415,285	0.0	673,578	0.0	61.7
<b>小 計</b>	<b>19,663,438,625</b>	<b>100.0</b>	<b>19,376,339,096</b>	<b>100.0</b>	<b>101.5</b>
当 年 度 純 損 失	—	—	—	—	—
<b>合 計</b>	<b>19,663,438,625</b>		<b>19,376,339,096</b>		

# 比較損益計算書

借 方					
科 目	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 費 用</b>	<b>2,257,242,403</b>	<b>97.4</b>	<b>2,296,853,552</b>	<b>97.2</b>	<b>98.3</b>
給 与 費	1,379,792,994	59.6	1,287,799,470	54.5	107.1
材 料 費	386,463,794	16.7	547,072,603	23.1	70.6
経 費	352,154,100	15.2	342,570,891	14.5	102.8
減 価 償 却 費	125,953,970	5.4	104,826,877	4.4	120.2
資 産 減 耗 費	2,143,564	0.1	3,814,382	0.2	56.2
研 究 研 修 費	4,146,349	0.2	3,262,954	0.1	127.1
一 般 管 理 費	6,587,632	0.3	7,506,375	0.3	87.8
<b>医 業 外 費 用</b>	<b>57,336,687</b>	<b>2.5</b>	<b>65,202,428</b>	<b>2.8</b>	<b>87.9</b>
支 払 利 息	17,295,042	0.7	18,127,082	0.8	95.4
患 者 外 給 食 材 料 費	0	0.0	0	0.0	—
保 育 費	0	0.0	619,048	0.0	0.0
繰 延 勘 定 償 却	3,936,866	0.2	2,624,665	0.1	150.0
雑 損 失	36,104,779	1.6	43,831,633	1.9	82.4
<b>特 別 損 失</b>	<b>2,208,748</b>	<b>0.1</b>	<b>1,236,387</b>	<b>0.1</b>	<b>178.6</b>
過 年 度 損 失	2,208,748	0.1	1,236,387	0.1	178.6
<b>小 計</b>	<b>2,316,787,838</b>	<b>100.0</b>	<b>2,363,292,367</b>	<b>100.0</b>	<b>98.0</b>
<b>当 年 度 純 利 益</b>	<b>—</b>		<b>101,493,754</b>		
<b>合 計</b>	<b>2,316,787,838</b>		<b>2,464,786,121</b>		

# ( 木 曾 川 市 民 病 院 )

貸 方					
科 目	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		前 年 度 対 比 (%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 収 益</b>	<b>2,020,283,606</b>	<b>89.9</b>	<b>2,236,398,840</b>	<b>90.7</b>	<b>90.3</b>
入 院 収 益	1,381,230,296	61.5	1,462,734,341	59.3	94.4
外 来 収 益	581,363,253	25.9	723,880,772	29.4	80.3
その他医業収益	57,690,057	2.6	49,783,727	2.0	115.9
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>226,943,717</b>	<b>10.1</b>	<b>228,387,281</b>	<b>9.3</b>	<b>99.4</b>
受 取 利 息	1,065,472	0.0	784,875	0.0	135.8
負担金・交付金	217,761,528	9.7	216,582,881	8.8	100.5
患者外給食収益	0	0.0	0	0.0	—
その他医業外収益	8,114,021	0.4	11,018,239	0.4	73.6
雑 収 益	2,696	0.0	1,286	0.0	209.6
<b>特 別 利 益</b>	<b>165,945</b>	<b>0.0</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>—</b>
過 年 度 収 益	165,945	0.0	0	0.0	—
<b>小 計</b>	<b>2,247,393,268</b>	<b>100.0</b>	<b>2,464,786,121</b>	<b>100.0</b>	<b>91.2</b>
<b>当 年 度 純 損 失</b>	<b>69,394,570</b>		—		
<b>合 計</b>	<b>2,316,787,838</b>		<b>2,464,786,121</b>		

## 比較損益計算書

科 目	借		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医業費用</b>	<b>145,110,920</b>	<b>100.0</b>	<b>154,733,772</b>	<b>100.0</b>	<b>93.8</b>
給 与 費	137,613,708	94.8	142,774,056	92.3	96.4
経 費	7,235,682	5.0	11,713,516	7.6	61.8
研究研修費	261,530	0.2	246,200	0.2	106.2
<b>小 計</b>	<b>145,110,920</b>	<b>100.0</b>	<b>154,733,772</b>	<b>100.0</b>	<b>93.8</b>
当年度純利益	0		0		
<b>合 計</b>	<b>145,110,920</b>		<b>154,733,772</b>		

## ( 病 院 事 業 部 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>145,110,920</b>	<b>100.0</b>	<b>154,702,107</b>	<b>100.0</b>	<b>93.8</b>
受 取 利 息	4,469	0.0	3,741	0.0	119.5
負 担 金 ・ 交 付 金	75,975,374	52.4	78,878,014	51.0	96.3
そ の 他 医 業 外 収 益	69,131,077	47.6	75,820,352	49.0	91.2
<b>特 別 利 益</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>31,665</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>
過 年 度 収 益	0	0.0	31,665	0.0	0.0
<b>小 計</b>	<b>145,110,920</b>	<b>100.0</b>	<b>154,733,772</b>	<b>100.0</b>	<b>93.8</b>
<b>当 年 度 純 損 失</b>	—		—		
<b>合 計</b>	<b>145,110,920</b>		<b>154,733,772</b>		

# 比 較 損 益 計 算 書

科 目	借		方		前 年 度 対 比 (%)
	平成 25 年度 (按分後)		平成 24 年度 (按分後)		
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
<b>医 業 費 用</b>	<b>18,693,377,877</b>	<b>95.2</b>	<b>17,984,892,827</b>	<b>95.0</b>	<b>103.9</b>
給 与 費 *	9,208,548,948	46.9	8,227,222,205	43.5	111.9
材 料 費	4,664,631,857	23.8	4,576,673,183	24.2	101.9
経 費 *	3,446,031,896	17.6	3,932,570,547	20.8	87.6
減 価 償 却 費	1,323,782,876	6.7	1,204,322,727	6.4	109.9
資 産 減 耗 費	4,828,094	0.0	2,458,644	0.0	196.4
研 究 研 修 費 *	45,554,206	0.2	41,645,521	0.2	109.4
一 般 管 理 費	0	0.0	0	0.0	—
<b>医 業 外 費 用</b>	<b>850,548,177</b>	<b>4.3</b>	<b>829,869,443</b>	<b>4.4</b>	<b>102.5</b>
支 払 利 息	254,649,737	1.3	254,391,633	1.3	100.1
患 者 外 給 食 費	312,400	0.0	382,400	0.0	81.7
保 育 費	46,755,689	0.2	44,607,675	0.2	104.8
繰 延 勘 定 償 却	155,007,038	0.8	143,029,959	0.8	108.4
雑 損 失	393,823,313	2.0	387,457,776	2.0	101.6
<b>特 別 損 失</b>	<b>84,581,160</b>	<b>0.4</b>	<b>108,442,937</b>	<b>0.6</b>	<b>78.0</b>
過 年 度 損 失	77,623,660	0.4	84,641,348	0.4	91.7
そ の 他 特 別 損 失	6,957,500	0.0	23,801,589	0.1	29.2
<b>小 計</b>	<b>19,628,507,214</b>	<b>100.0</b>	<b>18,923,205,207</b>	<b>100.0</b>	<b>103.7</b>
<b>当 年 度 純 利 益</b>	<b>99,534,037</b>		<b>520,307,442</b>		
<b>合 計</b>	<b>19,728,041,251</b>		<b>19,443,512,649</b>		

(注) 本表は、\*印の科目に病院事業部の決算額を按分して加算している。また、一般管理費とその



## ( 市 民 病 院 ・ 按 分 後 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 ( % )
	平成 25 年度 ( 按 分 後 )		平成 24 年度 ( 按 分 後 )		
	金 額 ( 円 )	構 成 比 ( % )	金 額 ( 円 )	構 成 比 ( % )	
<b>医 業 収 益</b>	<b>17,808,043,719</b>	<b>90.3</b>	<b>17,770,590,606</b>	<b>91.4</b>	<b>100.2</b>
入 院 収 益	12,006,754,033	60.9	12,084,931,790	62.2	99.4
外 来 収 益	5,475,320,824	27.8	5,371,050,503	27.6	101.9
その他医業収益	325,968,862	1.7	314,608,313	1.6	103.6
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>1,919,582,247</b>	<b>9.7</b>	<b>1,672,221,549</b>	<b>8.6</b>	<b>114.8</b>
受 取 利 息 *	1,322,734	0.0	1,608,467	0.0	82.2
補 助 金	59,884,352	0.3	60,785,994	0.3	98.5
負担金・交付金*	1,738,935,267	8.8	1,436,068,338	7.4	121.1
患者外給食収益	509,701	0.0	617,649	0.0	82.5
保 育 収 益	9,671,483	0.0	9,117,649	0.0	106.1
その他医業外収益*	108,991,904	0.6	163,825,231	0.8	66.5
雑 収 益	266,806	0.0	198,221	0.0	134.6
<b>特 別 利 益</b>	<b>415,285</b>	<b>0.0</b>	<b>700,494</b>	<b>0.0</b>	<b>59.3</b>
過 年 度 収 益 *	415,285	0.0	700,494	0.0	59.3
<b>小 計</b>	<b>19,728,041,251</b>	<b>100.0</b>	<b>19,443,512,649</b>	<b>100.0</b>	<b>101.5</b>
当 年 度 純 損 失	—		—		
<b>合 計</b>	<b>19,728,041,251</b>		<b>19,443,512,649</b>		

他医業外収益の病院分担金を相殺消去している。

# 比 較 損 益 計 算 書

借 方					
科 目	平成 25 年度(按分後)		平成 24 年度(按分後)		前 年 度 対 比(%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 費 用</b>	<b>2,268,642,865</b>	<b>97.4</b>	<b>2,308,707,707</b>	<b>97.2</b>	<b>98.3</b>
給 与 費 *	1,396,656,507	60.0	1,305,366,043	55.0	107.0
材 料 費	386,463,794	16.6	547,072,603	23.0	70.6
経 費 *	353,239,453	15.2	344,327,919	14.5	102.6
減 価 償 却 費	125,953,970	5.4	104,826,877	4.4	120.2
資 産 減 耗 費	2,143,564	0.1	3,814,382	0.2	56.2
研 究 研 修 費 *	4,185,577	0.2	3,299,883	0.1	126.8
一 般 管 理 費	0	0.0	0	0.0	—
<b>医 業 外 費 用</b>	<b>57,336,687</b>	<b>2.5</b>	<b>65,202,428</b>	<b>2.7</b>	<b>87.9</b>
支 払 利 息	17,295,042	0.7	18,127,082	0.8	95.4
患 者 外 給 食 材 料 費	0	0.0	0	0.0	—
保 育 費	0	0.0	619,048	0.0	0.0
繰 延 勘 定 償 却	3,936,866	0.2	2,624,665	0.1	150.0
雑 損 失	36,104,779	1.6	43,831,633	1.8	82.4
<b>特 別 損 失</b>	<b>2,208,748</b>	<b>0.1</b>	<b>1,236,387</b>	<b>0.1</b>	<b>178.6</b>
過 年 度 損 失	2,208,748	0.1	1,236,387	0.1	178.6
<b>小 計</b>	<b>2,328,188,300</b>	<b>100.0</b>	<b>2,375,146,522</b>	<b>100.0</b>	<b>98.0</b>
<b>当 年 度 純 利 益</b>	<b>—</b>		<b>101,493,754</b>		
<b>合 計</b>	<b>2,328,188,300</b>		<b>2,476,640,276</b>		

(注) 本表は、\*印の科目に病院事業部の決算額を按分して加算している。また、一般管理費とその

## ( 木 曾 川 市 民 病 院 ・ 按 分 後 )

貸 方					
科 目	平成 25 年度(按分後)		平成 24 年度(按分後)		前 年 度 対 比(%)
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>医 業 収 益</b>	<b>2,020,283,606</b>	<b>89.4</b>	<b>2,236,398,840</b>	<b>90.3</b>	<b>90.3</b>
入 院 収 益	1,381,230,296	61.1	1,462,734,341	59.1	94.4
外 来 収 益	581,363,253	25.7	723,880,772	29.2	80.3
その他医業収益	57,690,057	2.6	49,783,727	2.0	115.9
<b>医 業 外 収 益</b>	<b>238,344,179</b>	<b>10.6</b>	<b>240,236,687</b>	<b>9.7</b>	<b>99.2</b>
受 取 利 息*	1,066,142	0.0	785,436	0.0	135.7
負担金・交付金*	229,157,834	10.1	228,414,583	9.2	100.3
患者外給食収益	0	0.0	0	0.0	—
その他医業外収益*	8,117,507	0.4	11,035,382	0.4	73.6
雑 収 益	2,696	0.0	1,286	0.0	209.6
<b>特 別 利 益</b>	<b>165,945</b>	<b>0.0</b>	<b>4,749</b>	<b>0.0</b>	<b>3,494.3</b>
過 年 度 収 益 *	165,945	0.0	4,749	0.0	3,494.3
<b>小 計</b>	<b>2,258,793,730</b>	<b>100.0</b>	<b>2,476,640,276</b>	<b>100.0</b>	<b>91.2</b>
<b>当 年 度 純 損 失</b>	<b>69,394,570</b>		—		
<b>合 計</b>	<b>2,328,188,300</b>		<b>2,476,640,276</b>		

他医業外収益の病院分担金を相殺消去している。

## 収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	平成 25 年 度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)
<b>医業費用</b>	<b>10,247,957,327</b>	<b>9,167,052,955</b>	<b>87,397,950</b>	<b>1,456,386,387</b>	<b>20,958,794,619</b>	<b>95.5</b>
給与費	10,247,765,627	357,439,828	—	—	10,605,205,455	48.3
材料費	—	5,051,095,651	—	—	5,051,095,651	23.0
経費*	191,700	3,708,455,576	87,397,950	—	3,796,045,226	17.3
減価償却費	—	—	—	1,449,736,846	1,449,736,846	6.6
資産減耗費	—	322,117	—	6,649,541	6,971,658	0.0
研究研修費	—	49,739,783	—	—	49,739,783	0.2
一般管理費*	—	—	0	—	0	0.0
<b>医業外費用</b>	<b>—</b>	<b>47,058,319</b>	<b>701,882,641</b>	<b>158,943,904</b>	<b>907,884,864</b>	<b>4.1</b>
支払利息	—	—	271,944,779	—	271,944,779	1.2
患者外給食費	—	312,400	—	—	312,400	0.0
患者外給食材料費	—	0	—	—	0	0.0
保育費*	—	46,745,919	9,770	—	46,755,689	0.2
繰延勘定償却	—	—	—	158,943,904	158,943,904	0.7
雑損失	—	—	429,928,092	—	429,928,092	2.0
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>3,300,000</b>	<b>79,832,408</b>	<b>3,657,500</b>	<b>86,789,908</b>	<b>0.4</b>
過年度損失	—	—	79,832,408	—	79,832,408	0.4
その他特別損失	—	3,300,000	—	3,657,500	6,957,500	0.0
<b>合計</b>	<b>10,247,957,327</b>	<b>9,217,411,274</b>	<b>869,112,999</b>	<b>1,618,987,791</b>	<b>21,953,469,391</b>	<b>100.0</b>
<b>構成比 (%)</b>	<b>46.7</b>	<b>42.0</b>	<b>4.0</b>	<b>7.4</b>	<b>100.0</b>	

(注) 経費内訳 人件費……給料、手当(児童手当及び子ども手当を除く)、賃金のうち一般職に準ずる  
物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用  
その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金(愛知県職員給与費負担金を除  
留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除  
その他特別損失(撤去に要する費用を除く)

※ 本表では、\*印の科目で病院事業会計の内部取引を相殺消去し、純計とした上で、両年度の収益的

## 両年度比較表（総合）

平成 24 年 度						前年度 対 比 (%)
人 件 費(円)	物 件 費(円)	そ の 他(円)	留 保 資 金(円)	合 計 (円)	構 成 比 (%)	
<b>9,660,921,795</b>	<b>9,232,367,971</b>	<b>82,309,160</b>	<b>1,314,803,665</b>	<b>20,290,402,591</b>	<b>95.3</b>	<b>103.3</b>
9,186,854,094	345,734,154	—	—	9,532,588,248	44.8	111.3
—	5,123,745,786	—	—	5,123,745,786	24.1	98.6
474,067,701	3,717,323,662	82,309,160	—	4,273,700,523	20.1	88.8
—	—	—	1,309,149,604	1,309,149,604	6.1	110.7
—	618,965	—	5,654,061	6,273,026	0.0	111.1
—	44,945,404	—	—	44,945,404	0.2	110.7
—	—	0	—	0	0.0	—
—	<b>44,980,305</b>	<b>703,779,729</b>	<b>145,692,789</b>	<b>894,452,823</b>	<b>4.2</b>	<b>101.5</b>
—	—	272,518,715	—	272,518,715	1.3	99.8
—	382,400	—	—	382,400	0.0	81.7
—	0	—	—	0	0.0	—
—	44,597,905	9,770	—	44,607,675	0.2	104.8
—	—	—	145,654,624	145,654,624	0.7	109.1
—	—	431,251,244	38,165	431,289,409	2.0	99.7
—	—	<b>85,877,735</b>	<b>23,801,589</b>	<b>109,679,324</b>	<b>0.5</b>	<b>79.1</b>
—	—	85,877,735	—	85,877,735	0.4	93.0
—	—	—	23,801,589	23,801,589	0.1	29.2
<b>9,660,921,795</b>	<b>9,277,348,276</b>	<b>871,966,624</b>	<b>1,484,298,043</b>	<b>21,294,534,738</b>	<b>100.0</b>	<b>103.1</b>
<b>45.4</b>	<b>43.6</b>	<b>4.1</b>	<b>7.0</b>	<b>100.0</b>		

常備的な賃金、法定福利費、退職給与金、愛知県職員給与費負担金、報酬

く)、一般管理費、支払利息、雑損失(原状回復により生じた敷金返還金の損失を除く)、過年度損失く)、繰延勘定償却、雑損失のうち原状回復により生じた敷金返還金の損失、固定資産売却損、支出を比較している。

## 収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	平成 25 年 度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)
<b>医業費用</b>	<b>8,798,412,303</b>	<b>8,359,322,760</b>	<b>142,702,051</b>	<b>1,328,338,137</b>	<b>18,628,775,251</b>	<b>95.2</b>
給与費	8,798,220,603	289,578,150	—	—	9,087,798,753	46.5
材料費	—	4,664,631,857	—	—	4,664,631,857	23.8
経費	191,700	3,359,508,016	80,181,851	—	3,439,881,567	17.6
減価償却費	—	—	—	1,323,782,876	1,323,782,876	6.8
資産減耗費	—	272,833	—	4,555,261	4,828,094	0.0
研究研修費	—	45,331,904	—	—	45,331,904	0.2
一般管理費	—	—	62,520,200	—	62,520,200	0.3
<b>医業外費用</b>	<b>—</b>	<b>47,058,319</b>	<b>648,482,820</b>	<b>155,007,038</b>	<b>850,548,177</b>	<b>4.3</b>
支払利息	—	—	254,649,737	—	254,649,737	1.3
患者外給食費	—	312,400	—	—	312,400	0.0
保育費	—	46,745,919	9,770	—	46,755,689	0.2
繰延勘定償却	—	—	—	155,007,038	155,007,038	0.8
雑損失	—	—	393,823,313	—	393,823,313	2.0
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>3,300,000</b>	<b>77,623,660</b>	<b>3,657,500</b>	<b>84,581,160</b>	<b>0.4</b>
過年度損失	—	—	77,623,660	—	77,623,660	0.4
その他特別損失	—	3,300,000	—	3,657,500	6,957,500	0.0
<b>合計</b>	<b>8,798,412,303</b>	<b>8,409,681,079</b>	<b>868,808,531</b>	<b>1,487,002,675</b>	<b>19,563,904,588</b>	<b>100.0</b>
<b>構成比 (%)</b>	<b>45.0</b>	<b>43.0</b>	<b>4.4</b>	<b>7.6</b>	<b>100.0</b>	

(注) 経費内訳  
 人件費……給料、手当(児童手当及び子ども手当を除く)、賃金のうち一般職に準ずる  
 物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用  
 その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金(愛知県職員給与費負担金を除  
 留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除  
 その他特別損失(撤去に要する費用を除く)

## 両年度比較表（市民病院）

平成 24 年 度						前年度 対 比 (%)
人 件 費(円)	物 件 費(円)	そ の 他 (円)	留 保 資 金(円)	合 計 (円)	構 成 比 (%)	
<b>8,282,908,850</b>	<b>8,284,677,972</b>	<b>143,545,958</b>	<b>1,206,586,494</b>	<b>17,917,719,274</b>	<b>95.0</b>	<b>104.0</b>
7,808,841,149	293,173,573	—	—	8,102,014,722	43.0	112.2
—	4,576,673,183	—	—	4,576,673,183	24.3	101.9
474,067,701	3,373,200,089	75,346,269	—	3,922,614,059	20.8	87.7
—	—	—	1,204,322,727	1,204,322,727	6.4	109.9
—	194,877	—	2,263,767	2,458,644	0.0	196.4
—	41,436,250	—	—	41,436,250	0.2	109.4
—	—	68,199,689	—	68,199,689	0.4	91.7
—	<b>44,980,305</b>	<b>641,821,014</b>	<b>143,068,124</b>	<b>829,869,443</b>	<b>4.4</b>	<b>102.5</b>
—	—	254,391,633	—	254,391,633	1.3	100.1
—	382,400	—	—	382,400	0.0	81.7
—	44,597,905	9,770	—	44,607,675	0.2	104.8
—	—	—	143,029,959	143,029,959	0.8	108.4
—	—	387,419,611	38,165	387,457,776	2.1	101.6
—	—	<b>84,641,348</b>	<b>23,801,589</b>	<b>108,442,937</b>	<b>0.6</b>	<b>78.0</b>
—	—	84,641,348	—	84,641,348	0.4	91.7
—	—	—	23,801,589	23,801,589	0.1	29.2
<b>8,282,908,850</b>	<b>8,329,658,277</b>	<b>870,008,320</b>	<b>1,373,456,207</b>	<b>18,856,031,654</b>	<b>100.0</b>	<b>103.8</b>
<b>43.9</b>	<b>44.2</b>	<b>4.6</b>	<b>7.3</b>	<b>100.0</b>		

常備的な賃金、法定福利費、退職給与金、愛知県職員給与費負担金、報酬

く)、一般管理費、支払利息、雑損失(原状回復により生じた敷金返還金の損失を除く)、過年度損失  
く)、繰延勘定償却、雑損失のうち原状回復により生じた敷金返還金の損失、固定資産売却損、

## 収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	平成 25 年 度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)
<b>医業費用</b>	<b>1,312,371,316</b>	<b>804,819,071</b>	<b>12,003,766</b>	<b>128,048,250</b>	<b>2,257,242,403</b>	<b>97.4</b>
給与費	1,312,371,316	67,421,678	—	—	1,379,792,994	59.6
材料費	—	386,463,794	—	—	386,463,794	16.7
経費	—	346,737,966	5,416,134	—	352,154,100	15.2
減価償却費	—	—	—	125,953,970	125,953,970	5.4
資産減耗費	—	49,284	—	2,094,280	2,143,564	0.1
研究研修費	—	4,146,349	—	—	4,146,349	0.2
一般管理費	—	—	6,587,632	—	6,587,632	0.3
<b>医業外費用</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>53,399,821</b>	<b>3,936,866</b>	<b>57,336,687</b>	<b>2.5</b>
支払利息	—	—	17,295,042	—	17,295,042	0.7
患者外給 食材料費	—	0	—	—	0	0.0
保育費	—	—	0	—	0	0.0
繰延勘定償却	—	—	—	3,936,866	3,936,866	0.2
雑損失	—	—	36,104,779	—	36,104,779	1.6
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>2,208,748</b>	<b>—</b>	<b>2,208,748</b>	<b>0.1</b>
過年度損失	—	—	2,208,748	—	2,208,748	0.1
<b>合計</b>	<b>1,312,371,316</b>	<b>804,819,071</b>	<b>67,612,335</b>	<b>131,985,116</b>	<b>2,316,787,838</b>	<b>100.0</b>
<b>構成比 (%)</b>	<b>56.6</b>	<b>34.7</b>	<b>2.9</b>	<b>5.7</b>	<b>100.0</b>	

(注) 経費内訳 人件費……給料、手当(児童手当及び子ども手当を除く)、賃金のうち一般職に準ずる  
 物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用  
 その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金、一般管理費、支払利息、保育  
 留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除



## 両年度比較表（木曾川市民病院）

平成 24 年 度						前年度 対 比 (%)
人 件 費(円)	物 件 費(円)	そ の 他(円)	留 保 資 金(円)	合 計 (円)	構 成 比 (%)	
<b>1,235,678,889</b>	<b>939,772,007</b>	<b>13,185,485</b>	<b>108,217,171</b>	<b>2,296,853,552</b>	<b>97.2</b>	<b>98.3</b>
1,235,678,889	52,120,581	—	—	1,287,799,470	54.5	107.1
—	547,072,603	—	—	547,072,603	23.1	70.6
—	336,891,781	5,679,110	—	342,570,891	14.5	102.8
—	—	—	104,826,877	104,826,877	4.4	120.2
—	424,088	—	3,390,294	3,814,382	0.2	56.2
—	3,262,954	—	—	3,262,954	0.1	127.1
—	—	7,506,375	—	7,506,375	0.3	87.8
—	<b>0</b>	<b>62,577,763</b>	<b>2,624,665</b>	<b>65,202,428</b>	<b>2.8</b>	<b>87.9</b>
—	—	18,127,082	—	18,127,082	0.8	95.4
—	0	—	—	0	0.0	—
—	—	619,048	—	619,048	0.0	0.0
—	—	—	2,624,665	2,624,665	0.1	150.0
—	—	43,831,633	—	43,831,633	1.9	82.4
—	—	<b>1,236,387</b>	—	<b>1,236,387</b>	<b>0.1</b>	<b>178.6</b>
—	—	1,236,387	—	1,236,387	0.1	178.6
<b>1,235,678,889</b>	<b>939,772,007</b>	<b>76,999,635</b>	<b>110,841,836</b>	<b>2,363,292,367</b>	<b>100.0</b>	<b>98.0</b>
<b>52.3</b>	<b>39.8</b>	<b>3.3</b>	<b>4.7</b>	<b>100.0</b>		

常備的な賃金、法定福利費、退職給与金

費、雑損失、過年度損失

〈〉、繰延勘定償却、固定資産売却損

## 収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	平成 25 年 度					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)
<b>医業費用</b>	<b>137,173,708</b>	<b>6,137,247</b>	<b>1,799,965</b>	—	<b>145,110,920</b>	<b>100.0</b>
給与費	137,173,708	440,000	—	—	137,613,708	94.8
経費	—	5,435,717	1,799,965	—	7,235,682	5.0
研究研修費	—	261,530	—	—	261,530	0.2
<b>合計</b>	<b>137,173,708</b>	<b>6,137,247</b>	<b>1,799,965</b>	—	<b>145,110,920</b>	<b>100.0</b>
<b>構成比 (%)</b>	<b>94.5</b>	<b>4.2</b>	<b>1.2</b>	—	<b>100.0</b>	

(注) 経費内訳

- 人件費……給料、手当(児童手当及び子ども手当を除く)、法定福利費、退職給与金
- 物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用
- その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金
- 留保資金…該当なし

## 両年度比較表（病院事業部）

平成 24 年 度						前年度 対 比 (%)
人 件 費(円)	物 件 費(円)	そ の 他(円)	留 保 資 金(円)	合 計 (円)	構 成 比 (%)	
<b>142,334,056</b>	<b>11,115,935</b>	<b>1,283,781</b>	—	<b>154,733,772</b>	<b>100.0</b>	<b>93.8</b>
142,334,056	440,000	—	—	142,774,056	92.3	96.4
—	10,429,735	1,283,781	—	11,713,516	7.6	61.8
—	246,200	—	—	246,200	0.2	106.2
<b>142,334,056</b>	<b>11,115,935</b>	<b>1,283,781</b>	—	<b>154,733,772</b>	<b>100.0</b>	<b>93.8</b>
<b>92.0</b>	<b>7.2</b>	<b>0.8</b>	—	<b>100.0</b>		

## 収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	平成25年度（按分後）					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)
<b>医業費用</b>	<b>8,918,788,498</b>	<b>8,364,539,420</b>	<b>81,711,822</b>	<b>1,328,338,137</b>	<b>18,693,377,877</b>	<b>95.2</b>
給与費*	8,918,596,798	289,952,150	—	—	9,208,548,948	46.9
材料費	—	4,664,631,857	—	—	4,664,631,857	23.8
経費*	191,700	3,364,128,374	81,711,822	—	3,446,031,896	17.6
減価償却費	—	—	—	1,323,782,876	1,323,782,876	6.7
資産減耗費	—	272,833	—	4,555,261	4,828,094	0.0
研究研修費*	—	45,554,206	—	—	45,554,206	0.2
一般管理費	—	—	0	—	0	0.0
<b>医業外費用</b>	<b>—</b>	<b>47,058,319</b>	<b>648,482,820</b>	<b>155,007,038</b>	<b>850,548,177</b>	<b>4.3</b>
支払利息	—	—	254,649,737	—	254,649,737	1.3
患者外給食費	—	312,400	—	—	312,400	0.0
保育費	—	46,745,919	9,770	—	46,755,689	0.2
繰延勘定償却	—	—	—	155,007,038	155,007,038	0.8
雑損失	—	—	393,823,313	—	393,823,313	2.0
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>3,300,000</b>	<b>77,623,660</b>	<b>3,657,500</b>	<b>84,581,160</b>	<b>0.4</b>
過年度損失	—	—	77,623,660	—	77,623,660	0.4
その他特別損失	—	3,300,000	—	3,657,500	6,957,500	0.0
<b>合計</b>	<b>8,918,788,498</b>	<b>8,414,897,739</b>	<b>807,818,302</b>	<b>1,487,002,675</b>	<b>19,628,507,214</b>	<b>100.0</b>
<b>構成比 (%)</b>	<b>45.4</b>	<b>42.9</b>	<b>4.1</b>	<b>7.6</b>	<b>100.0</b>	

(注) 経費内訳 人件費……給料、手当（児童手当及び子ども手当を除く）、賃金のうち一般職に準ずる  
物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用  
その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金（愛知県職員給与費負担金を除く）  
留保資金…減価償却費、資産減耗費（たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除く）  
その他特別損失（撤去に要する費用を除く）

※ 本表は、\*印の科目に病院事業部の決算額を按分して加算している。また、一般管理費は、

## 両年度比較表（市民病院・按分後）

平成24年度（按分後）						前年度 対 比 （%）
人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合 計（円）	構成比 （%）	
<b>8,407,742,333</b>	<b>8,294,126,517</b>	<b>76,437,483</b>	<b>1,206,586,494</b>	<b>17,984,892,827</b>	<b>95.0</b>	<b>103.9</b>
7,933,674,632	293,547,573	—	—	8,227,222,205	43.5	111.9
—	4,576,673,183	—	—	4,576,673,183	24.2	101.9
474,067,701	3,382,065,363	76,437,483	—	3,932,570,547	20.8	87.6
—	—	—	1,204,322,727	1,204,322,727	6.4	109.9
—	194,877	—	2,263,767	2,458,644	0.0	196.4
—	41,645,521	—	—	41,645,521	0.2	109.4
—	—	0	—	0	0.0	—
—	<b>44,980,305</b>	<b>641,821,014</b>	<b>143,068,124</b>	<b>829,869,443</b>	<b>4.4</b>	<b>102.5</b>
—	—	254,391,633	—	254,391,633	1.3	100.1
—	382,400	—	—	382,400	0.0	81.7
—	44,597,905	9,770	—	44,607,675	0.2	104.8
—	—	—	143,029,959	143,029,959	0.8	108.4
—	—	387,419,611	38,165	387,457,776	2.0	101.6
—	—	<b>84,641,348</b>	<b>23,801,589</b>	<b>108,442,937</b>	<b>0.6</b>	<b>78.0</b>
—	—	84,641,348	—	84,641,348	0.4	91.7
—	—	—	23,801,589	23,801,589	0.1	29.2
<b>8,407,742,333</b>	<b>8,339,106,822</b>	<b>802,899,845</b>	<b>1,373,456,207</b>	<b>18,923,205,207</b>	<b>100.0</b>	<b>103.7</b>
<b>44.4</b>	<b>44.1</b>	<b>4.2</b>	<b>7.3</b>	<b>100.0</b>		

常備的な賃金、法定福利費、退職給与金、愛知県職員給与費負担金、報酬

く)、一般管理費、支払利息、雑損失(原状回復により生じた敷金返還金の損失を除く)、過年度損失  
く)、繰延勘定償却、雑損失のうち原状回復により生じた敷金返還金の損失、固定資産売却損、

その他医業外収益の病院分担金との相殺消去により0となっている。

## 収益的支出科目別及び経費別

年度別 経費 科目	平成 25 年度（按分後）					
	人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)
<b>医業費用</b>	<b>1,329,168,829</b>	<b>805,739,658</b>	<b>5,686,128</b>	<b>128,048,250</b>	<b>2,268,642,865</b>	<b>97.4</b>
給与費*	1,329,168,829	67,487,678	—	—	1,396,656,507	60.0
材料費	—	386,463,794	—	—	386,463,794	16.6
経費*	—	347,553,325	5,686,128	—	353,239,453	15.2
減価償却費	—	—	—	125,953,970	125,953,970	5.4
資産減耗費	—	49,284	—	2,094,280	2,143,564	0.1
研究研修費*	—	4,185,577	—	—	4,185,577	0.2
一般管理費	—	—	0	—	0	0.0
<b>医業外費用</b>	<b>—</b>	<b>0</b>	<b>53,399,821</b>	<b>3,936,866</b>	<b>57,336,687</b>	<b>2.5</b>
支払利息	—	—	17,295,042	—	17,295,042	0.7
患者外給食材料費	—	0	—	—	0	0.0
保育費	—	—	0	—	0	0.0
繰延勘定償却	—	—	—	3,936,866	3,936,866	0.2
雑損失	—	—	36,104,779	—	36,104,779	1.6
<b>特別損失</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>2,208,748</b>	<b>—</b>	<b>2,208,748</b>	<b>0.1</b>
過年度損失	—	—	2,208,748	—	2,208,748	0.1
<b>合計</b>	<b>1,329,168,829</b>	<b>805,739,658</b>	<b>61,294,697</b>	<b>131,985,116</b>	<b>2,328,188,300</b>	<b>100.0</b>
<b>構成比 (%)</b>	<b>57.1</b>	<b>34.6</b>	<b>2.6</b>	<b>5.7</b>	<b>100.0</b>	

(注) 経費内訳 人件費……給料、手当(児童手当及び子ども手当を除く)、賃金のうち一般職に準ずる  
 物件費……人件費、その他の経費及び留保資金以外の費用  
 その他……保険料、諸会費、負担金補助及び交付金、一般管理費、支払利息、保育  
 留保資金…減価償却費、資産減耗費(たな卸資産減耗費及び撤去に要する費用を除

※ 本表は、\*印の科目に病院事業部の決算額を按分して加算している。また、一般管理費は、

## 両年度比較表(木曾川市民病院・按分後)

平成24年度(按分後)						前年度 対 比 (%)
人件費(円)	物件費(円)	その他(円)	留保資金(円)	合計(円)	構成比 (%)	
<b>1,253,179,462</b>	<b>941,439,397</b>	<b>5,871,677</b>	<b>108,217,171</b>	<b>2,308,707,707</b>	<b>97.2</b>	<b>98.3</b>
1,253,179,462	52,186,581	—	—	1,305,366,043	55.0	107.0
—	547,072,603	—	—	547,072,603	23.0	70.6
—	338,456,242	5,871,677	—	344,327,919	14.5	102.6
—	—	—	104,826,877	104,826,877	4.4	120.2
—	424,088	—	3,390,294	3,814,382	0.2	56.2
—	3,299,883	—	—	3,299,883	0.1	126.8
—	—	0	—	0	0.0	—
—	<b>0</b>	<b>62,577,763</b>	<b>2,624,665</b>	<b>65,202,428</b>	<b>2.7</b>	<b>87.9</b>
—	—	18,127,082	—	18,127,082	0.8	95.4
—	0	—	—	0	0.0	—
—	—	619,048	—	619,048	0.0	0.0
—	—	—	2,624,665	2,624,665	0.1	150.0
—	—	43,831,633	—	43,831,633	1.8	82.4
—	—	<b>1,236,387</b>	—	<b>1,236,387</b>	<b>0.1</b>	<b>178.6</b>
—	—	1,236,387	—	1,236,387	0.1	178.6
<b>1,253,179,462</b>	<b>941,439,397</b>	<b>69,685,827</b>	<b>110,841,836</b>	<b>2,375,146,522</b>	<b>100.0</b>	<b>98.0</b>
<b>52.8</b>	<b>39.6</b>	<b>2.9</b>	<b>4.7</b>	<b>100.0</b>		

常備的な賃金、法定福利費、退職給与金

費、雑損失、過年度損失

く)、繰延勘定償却、固定資産売却損

その他医業外収益の病院分担金との相殺消去により0となっている。

# 比 較 貸 借 対 照 表

科 目	借		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>固 定 資 産</b>	<b>20,778,370,909</b>	<b>63.9</b>	<b>22,034,052,912</b>	<b>67.2</b>	<b>94.3</b>
土 地	1,014,615,788	3.1	1,014,615,788	3.1	100.0
建 物	11,264,289,450	34.6	11,617,975,754	35.4	97.0
建 物 付 属 設 備	6,443,332,774	19.8	7,006,679,768	21.4	92.0
構 築 物	289,626,924	0.9	311,753,552	1.0	92.9
器 械 及 び 備 品	1,712,397,276	5.3	2,030,952,707	6.2	84.3
車 両 運 搬 具	8,169,796	0.0	8,141,442	0.0	100.3
そ の 他 有 形 固 定 資 産	29,593,874	0.1	29,593,874	0.1	100.0
電 話 加 入 権	2,219,027	0.0	2,219,027	0.0	100.0
そ の 他 無 形 固 定 資 産	2,005,000	0.0	—	—	—
出 資 金	620,000	0.0	620,000	0.0	100.0
敷 金	11,501,000	0.0	11,501,000	0.0	100.0
<b>流 動 資 産</b>	<b>11,516,183,919</b>	<b>35.4</b>	<b>10,374,679,808</b>	<b>31.7</b>	<b>111.0</b>
現 金 預 金	7,569,666,342	23.3	6,280,874,296	19.2	120.5
未 収 金	3,768,692,344	11.6	3,911,068,565	11.9	96.4
貯 蔵 品	177,821,453	0.5	182,736,947	0.6	97.3
前 払 費 用	3,780	0.0	—	—	—
<b>繰 延 勘 定</b>	<b>222,015,391</b>	<b>0.7</b>	<b>370,329,411</b>	<b>1.1</b>	<b>60.0</b>
控 除 対 象 外 消 費 税 額	222,015,391	0.7	370,329,411	1.1	60.0
<b>資 産 合 計</b>	<b>32,516,570,219</b>	<b>100.0</b>	<b>32,779,062,131</b>	<b>100.0</b>	<b>99.2</b>



( 総 合 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	平 成 25 年 度		平 成 24 年 度		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>固 定 負 債</b>	<b>1,435,224,129</b>	<b>4.4</b>	<b>703,420,107</b>	<b>2.1</b>	<b>204.0</b>
退職給与引当金	1,435,224,129	4.4	703,420,107	2.1	204.0
<b>流 動 負 債</b>	<b>1,635,358,631</b>	<b>5.0</b>	<b>2,614,704,419</b>	<b>8.0</b>	<b>62.5</b>
未 払 金	1,549,617,246	4.8	2,531,549,817	7.7	61.2
預 り 金	85,741,385	0.3	83,154,602	0.3	103.1
<b>資 本 金</b>	<b>32,296,843,615</b>	<b>99.3</b>	<b>32,306,147,595</b>	<b>98.6</b>	<b>100.0</b>
自 己 資 本 金	18,931,484,599	58.2	18,715,605,514	57.1	101.2
借 入 資 本 金	13,365,359,016	41.1	13,590,542,081	41.5	98.3
<b>剰 余 金</b>	<b>△ 2,850,856,156</b>	<b>△ 8.8</b>	<b>△ 2,845,209,990</b>	<b>△ 8.7</b>	<b>100.2</b>
資 本 剰 余 金	1,278,020,518	3.9	1,250,679,618	3.8	102.2
利 益 剰 余 金	△ 4,128,876,674	△ 12.7	△ 4,095,889,608	△ 12.5	100.8
(当年度純利益・△純損失)	(30,139,467)		(621,801,196)		
<b>負債・資本合計</b>	<b>32,516,570,219</b>	<b>100.0</b>	<b>32,779,062,131</b>	<b>100.0</b>	<b>99.2</b>

# 比 較 貸 借 対 照 表

科 目	借		方		前 年 度 対 比 (%)
	平成 25 年度 (按分後)		平成 24 年度 (按分後)		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>固 定 資 産</b>	<b>19,119,926,890</b>	<b>65.5</b>	<b>20,292,301,718</b>	<b>68.7</b>	<b>94.2</b>
土 地	1,001,270,838	3.4	1,001,270,838	3.4	100.0
建 物	10,093,537,026	34.6	10,377,767,986	35.1	97.3
建物付属設備	6,300,435,234	21.6	6,856,956,620	23.2	91.9
構 築 物	268,786,107	0.9	289,767,712	1.0	92.8
器械及び備品	1,403,702,047	4.8	1,715,744,703	5.8	81.8
車 両 運 搬 具	7,201,139	0.0	7,172,785	0.0	100.4
その他有形固定資産	29,593,874	0.1	29,593,874	0.1	100.0
電 話 加 入 権	1,906,200	0.0	1,906,200	0.0	100.0
その他無形固定資産	1,373,425	0.0	—	—	—
出 資 金	620,000	0.0	620,000	0.0	100.0
敷 金	11,501,000	0.0	11,501,000	0.0	100.0
<b>流 動 資 産</b>	<b>9,878,436,296</b>	<b>33.8</b>	<b>8,880,952,548</b>	<b>30.1</b>	<b>111.2</b>
現 金 預 金*	6,324,329,201	21.7	5,129,091,869	17.4	123.3
未 収 金*	3,394,026,803	11.6	3,591,617,332	12.2	94.5
貯 蔵 品	160,077,457	0.5	160,243,347	0.5	99.9
前 払 費 用	2,835	0.0	—	—	—
<b>繰 延 勘 定</b>	<b>209,849,417</b>	<b>0.7</b>	<b>356,410,825</b>	<b>1.2</b>	<b>58.9</b>
控除対象外消費税額	209,849,417	0.7	356,410,825	1.2	58.9
<b>資 産 合 計</b>	<b>29,208,212,603</b>	<b>100.0</b>	<b>29,529,665,091</b>	<b>100.0</b>	<b>98.9</b>

(注) 本表は、\*印の科目に病院事業部の決算額を按分して加算している。

## ( 市 民 病 院 ・ 按 分 後 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	平成 25 年度 (按分後)		平成 24 年度 (按分後)		
	金 額 (円)	構成比 (%)	金 額 (円)	構成比 (%)	
<b>固 定 負 債</b>	<b>1,169,856,787</b>	<b>4.0</b>	<b>565,937,856</b>	<b>1.9</b>	<b>206.7</b>
退職給与引当金 *	1,169,856,787	4.0	565,937,856	1.9	206.7
<b>流 動 負 債</b>	<b>1,432,616,463</b>	<b>4.9</b>	<b>2,382,457,786</b>	<b>8.1</b>	<b>60.1</b>
未 払 金 *	1,356,835,809	4.6	2,313,520,961	7.8	58.6
預 り 金 *	75,780,654	0.3	68,936,825	0.2	109.9
<b>資 本 金</b>	<b>27,708,527,850</b>	<b>94.9</b>	<b>27,707,806,350</b>	<b>93.8</b>	<b>100.0</b>
自 己 資 本 金	15,144,865,799	51.9	14,959,639,904	50.7	101.2
借 入 資 本 金	12,563,662,051	43.0	12,748,166,446	43.2	98.6
<b>剰 余 金</b>	<b>△ 1,102,788,497</b>	<b>△ 3.8</b>	<b>△ 1,126,536,901</b>	<b>△ 3.8</b>	<b>97.9</b>
資 本 剰 余 金	1,130,283,343	3.9	1,142,942,443	3.9	98.9
利 益 剰 余 金	△ 2,233,071,840	△ 7.6	△ 2,269,479,344	△ 7.7	98.4
(当年度純利益・△純損失)	(99,534,037)		(520,307,442)		
<b>負 債 ・ 資 本 合 計</b>	<b>29,208,212,603</b>	<b>100.0</b>	<b>29,529,665,091</b>	<b>100.0</b>	<b>98.9</b>

# 比較貸借対照表

借 方					
科 目	平成 25 年度(按分後)		平成 24 年度(按分後)		前 年 度 対 比(%)
	金 額 (円)	構成比(%)	金 額 (円)	構成比(%)	
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,658,444,019</b>	<b>50.1</b>	<b>1,741,751,194</b>	<b>53.6</b>	<b>95.2</b>
土 地	13,344,950	0.4	13,344,950	0.4	100.0
建 物	1,170,752,424	35.4	1,240,207,768	38.2	94.4
建物附属設備	142,897,540	4.3	149,723,148	4.6	95.4
構 築 物	20,840,817	0.6	21,985,840	0.7	94.8
器械及び備品	308,695,229	9.3	315,208,004	9.7	97.9
車両運搬具	968,657	0.0	968,657	0.0	100.0
電話加入権	312,827	0.0	312,827	0.0	100.0
その他無形固定資産	631,575	0.0	—	—	—
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,637,747,623</b>	<b>49.5</b>	<b>1,493,727,260</b>	<b>46.0</b>	<b>109.6</b>
現金預金*	1,245,337,141	37.6	1,151,782,427	35.4	108.1
未 収 金 *	374,665,541	11.3	319,451,233	9.8	117.3
貯 蔵 品	17,743,996	0.5	22,493,600	0.7	78.9
前 払 費 用	945	0.0	—	—	—
<b>繰 延 勘 定</b>	<b>12,165,974</b>	<b>0.4</b>	<b>13,918,586</b>	<b>0.4</b>	<b>87.4</b>
控除対象外消費税額	12,165,974	0.4	13,918,586	0.4	87.4
<b>資 産 合 計</b>	<b>3,308,357,616</b>	<b>100.0</b>	<b>3,249,397,040</b>	<b>100.0</b>	<b>101.8</b>

(注) 本表は、\*印の科目に病院事業部の決算額を按分して加算している。

## ( 木 曾 川 市 民 病 院 ・ 按 分 後 )

科 目	貸		方		前 年 度 対 比 (%)
	平成 25 年度 (按分後)		平成 24 年度 (按分後)		
	金 額 (円)	構 成 比 (%)	金 額 (円)	構 成 比 (%)	
<b>固 定 負 債</b>	<b>265,367,342</b>	<b>8.0</b>	<b>137,482,251</b>	<b>4.2</b>	<b>193.0</b>
退職給与引当金*	265,367,342	8.0	137,482,251	4.2	193.0
<b>流 動 負 債</b>	<b>202,742,168</b>	<b>6.1</b>	<b>232,246,633</b>	<b>7.1</b>	<b>87.3</b>
未 払 金*	192,781,437	5.8	218,028,856	6.7	88.4
預 り 金*	9,960,731	0.3	14,217,777	0.4	70.1
<b>資 本 金</b>	<b>4,588,315,765</b>	<b>138.7</b>	<b>4,598,341,245</b>	<b>141.5</b>	<b>99.8</b>
自 己 資 本 金	3,786,618,800	114.5	3,755,965,610	115.6	100.8
借 入 資 本 金	801,696,965	24.2	842,375,635	25.9	95.2
<b>剰 余 金</b>	<b>△ 1,748,067,659</b>	<b>△ 52.8</b>	<b>△ 1,718,673,089</b>	<b>△ 52.9</b>	<b>101.7</b>
資 本 剰 余 金	147,737,175	4.5	107,737,175	3.3	137.1
利 益 剰 余 金	△1,895,804,834	△ 57.3	△1,826,410,264	△ 56.2	103.8
(当年度純利益・△純損失)	(△69,394,570)		(101,493,754)		
<b>負 債 ・ 資 本 合 計</b>	<b>3,308,357,616</b>	<b>100.0</b>	<b>3,249,397,040</b>	<b>100.0</b>	<b>101.8</b>

# 比較財務分析表

区 分		平成 25 年度	平成 24 年度	比較増・△減
財 務 分 析	稼働病床利用率 (%)	90.1	91.3	△ 1.2
	自己資本構成比率 (%)	49.5	48.4	1.1
	固定資産対長期資本比率 (%)	67.3	73.0	△ 5.7
	流動比率 (%)	704.2	396.8	307.4
	総収益対総費用比率 (%) *	100.1	102.9	△ 2.8
	医業収益対医業費用比率 (%) *	94.6	98.6	△ 4.0
	企業債償還元金対減価償却額比率 (%)	15.5	16.0	△ 0.5
医 業 収 益 に 対 す る 比 率	企業債償還元金 (%) *	1.1	1.0	0.1
	企業債利息 (%) *	1.4	1.4	0.0
	企業債元利償還金 (%) *	2.5	2.4	0.1
	職員給与費 (%) *	51.7	48.3	3.4

(注) 1 \*印の各比率の算出にあたり、算式の各項目には、病院事業会計の内部取引を相殺消去し  
 2 平成 24 年度の職員給与費には、市民病院の経費に計上されている愛知県職員給与費負担

## ( 総 合 )

算 式	説 明
$\frac{\text{年間入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$ (稼働病床数)	
$\frac{\text{自己資本金+剰余金}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	総資本と自己資本との関係を示すもので、自己資本構成比率が大きいほど経営の安全性は大きいといえる。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債+資本合計}} \times 100$	固定資産の調達に資本と固定負債の範囲内で行われるべき立場から100%以下であるのが正常で、100%を超える場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには200%以上あることが理想とされている。
$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}} \times 100$	
$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた医業収益とそれに要した医業費用を比較して業務活動成績を示すもので、これによって経営の良否を判断するものである。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却額を比較したものである。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{企業債利息}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	

た数値を用いた。  
金を含む。

# 比較財務分析表

区 分		平成 25 年度 ( 按 分 後 )	平成 24 年度 ( 按 分 後 )	比較増・△減
財         分	稼働病床利用率 (%)	90.6	91.5	△ 0.9
	稼働一般病床利用率 (%)	91.7	92.7	△ 1.0
	結核・感染症病床利用率 (%)	63.7	63.4	0.3
	自己資本構成比率 (%) *	48.1	46.8	1.3
	固定資産対長期資本比率 (%) *	68.8	74.7	△ 5.9
	流動比率 (%) *	689.5	372.8	316.7
	総収益対総費用比率 (%) *	100.5	102.7	△ 2.2
	医業収益対医業費用比率 (%) *	95.3	98.8	△ 3.5
	企業債償還元金対減価償却額比率 (%)	13.9	14.1	△ 0.2
医 業 収 益 に 対 す る 比 率	企業債償還元金 (%)	1.0	1.0	0.0
	企業債利息 (%)	1.4	1.4	0.0
	企業債元利償還金 (%)	2.5	2.4	0.1
	職員給与費 (%) *	50.1	47.3	2.8

(注) 1 \*印の各比率の算出にあたり、算式の各項目には、病院事業部の決算額を按分して加算し、  
 2 平成 24 年度の職員給与費には、経費に計上されている愛知県職員給与費負担金を含む。



## （ 市 民 病 院 ・ 按 分 後 ）

算 式	説 明
$\frac{\text{年間入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$ (稼働病床数)	
$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	総資本と自己資本との関係を示すもので、自己資本構成比率が大きいほど経営の安全性は大きいといえる。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本合計}} \times 100$	固定資産の調達に資本と固定負債の範囲内で行われるべき立場から100%以下であるのが正常で、100%を超える場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには200%以上あることが理想とされている。
$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}} \times 100$	
$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた医業収益とそれに要した医業費用を比較して業務活動成績を示すもので、これによって経営の良否を判断するものである。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却額を比較したものである。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{企業債利息}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{企業債元利償還元金}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	

一般管理費と病院分担金を相殺消去した数値を用いた。

# 比較財務分析表

区 分		平成 25 年度 ( 按 分 後 )	平成 24 年度 ( 按 分 後 )	比較増・△減
財 務	稼働病床利用率 (%)	88.2	90.5	△ 2.3
	自己資本構成比率 (%) *	61.6	62.7	△ 1.1
	固定資産対長期資本比率 (%) *	53.4	57.7	△ 4.3
	流動比率 (%) *	807.8	643.2	164.6
	総収益対総費用比率 (%) *	97.0	104.3	△ 7.3
	医業収益対医業費用比率 (%) *	89.1	96.9	△ 7.8
	企業債償還元金対減価償却額比率 (%)	32.3	38.0	△ 5.7
分 析	医業収益に対する比率			
	企業債償還元金 (%)	2.0	1.8	0.2
	企業債利息 (%)	0.9	0.8	0.1
	企業債元利償還金 (%)	2.9	2.6	0.3
	職員給与費 (%) *	65.8	56.0	9.8

(注) \*印の各比率の算出にあたり、算式の各項目には、病院事業部の決算額を按分して加算し、一

## （ 木 曾 川 市 民 病 院 ・ 按 分 後 ）

算 式	説 明
$\frac{\text{年間入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$ (稼働病床数)	
$\frac{\text{自己資本金+剰余金}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	総資本と自己資本との関係を示すもので、自己資本構成比率が大きいほど経営の安全性は大きいといえる。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債+資本合計}} \times 100$	固定資産の調達に資本と固定負債の範囲内で行われるべき立場から100%以下であるのが正常で、100%を超える場合は固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と1年以内に支払わなければならない負債とを比較するものである。流動性を確保するためには200%以上あることが理想とされている。
$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}} \times 100$	
$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた医業収益とそれに要した医業費用を比較して業務活動成績を示すもので、これによって経営の良否を判断するものである。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却額を比較したものである。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{企業債利息}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{企業債元利償還金}}{\text{医業収益}} \times 100$	
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	

般管理費と病院分担金を相殺消去した数値を用いた。